

流域の人々と歩む月刊誌

くまがわ春秋

2017

6

第15号

特集 エンブリー夫妻と須恵村



月に願いを。

せんげつ

Japanese Traditional Rice Shochu
SENGETSU



織月城（人吉城跡）にて撮影

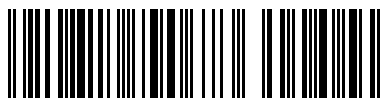
織月酒造株式会社
SENGETSU SHUZO CO., LTD.

〒868-0052 熊本県人吉市新町一番地 TEL 0966-22-3207

飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発達に悪影響を与えるおそれがあります。

<http://www.sengetsu.co.jp/>

雑誌 81779-06-7



4910817790673
00500

月刊 くまがわ春秋 第15号 2017年6月15日発行

企画：人吉球磨総合研究会

発行：人吉中央出版社

〒868-0015 熊本県人吉市下城本町1436-4の3号
TEL 0966-23-3759 / FAX 0966-23-3759
<http://www.hitoyoshi.co.jp/> info@hitoyoshi.co.jp

定価 540円

本体 500円

八代市議会は6月5日、議員定数を現行の32から28に4減する条例改正案を賛成多数で可決した。この措置は次回選挙から適用される。

どれだけの議員数であれば適切といえるかについての基準は存在しない。一般的に言えば、議員数は多ければ多いほど民意を反映しやすいという結論になりそうだが、それでも、議員数を無限に拡大できるわけでない以上、議員定数の問題はつねに論点にならざるを得ない。

今回、八代市議会はどうのような考え方にもとづいて定数を削減したのであろうか。三つの考え方があったようだ。第一に、九州の同規模議員一人あたりの平均人口を基準にする意見である。第二に、全国の同規模自治体の定数平均と将来人口や税収の減収を根拠にする見解である。第三に少数意見尊重の立場から定員削減に反対する見解である。どの見解が適切か。

八代市の面積は約681キロ平方メートル、総人口は約12万6千人で、人口密度は1キロ平方メートルあたり185人である。人吉市は、面積は約210キロ平方メートル、人口は約3万3千人で、人口密度は1キロ平方メートルあたり158人で議員定数は18である。人口1人あたりでいえば八代市の新定数28の場合、1議員あたり4500人の市民を代表し、人吉市では1議員あたり1800人の市民を代表している計算になる。こうした計算は意味があるだろうか。無意味ではないだろうが、さほど重要でもない。現在の議員が議員としての活動を実際に実行しているのか、議会が議論の場として成立するためには最低でもどれだけの人数を要するかといったことも考慮しなければならぬ。

今回の八代市議会の判断は、客観的にみれば、どのような理由づけをするかは別にして、現行の定数は多すぎるという感覚を議会自体が抱いたことを意味する。定数が多すぎると第三者が指摘したのではない。議員自体がそうみたのだ。わたしたちは、そのことのもつ意味を深く考える必要がある。

(上村雄二)

地方議会の議員定数

カラー特集

日本の村「須恵村」をゆく
くま川鉄道・人吉温泉駅 松本晋一／10
くまがわ野鳥だより⑤ 小川一弥／18
Facebookページだより②／20
定吉が行く⑮ 鳥飼博／21

— 6月(第15号) 目次 —

特集 エンブリー夫妻と須恵村／2
エンブリー夫妻を読む① 上村雄二／4
最近のおもな出来事／25
『文読む月日』／25
表紙写真説明／25
坂本100人会議、開催される／26
記憶の落ち穂⑮ 坂本福治／28
石橋を訪ねる⑥ 上村和代／28
『忘れられた人類学者』の縁 岐部明廣／31
水は流れているほうがいい 内田次一／32
柳人があじわう漱石俳句⑮ いわさき楊子／35
建築みてある記⑩ 森山 学／36
児童生徒文詩集「やまざり」から／40
おっとわつとあすび④ 松舟博満／41
医食同源⑩ 浦川春加／42
百済来の地名考 鶴崎信二／44



俳句大学 今月の秀句／47
みちのく南相馬紀行④ 那須智治／48
「ムカデ君、どうしたの？」久馬 俊／53
湯前まんが美術館設立の頃① 溝下昌美／54
「西南戦争」百四十年③ 益田啓三／57
ツクシイバラとの御縁で 岡部保男／61
倉敷便り⑥ 原田 正史／64
人吉市長・市議会議長へ望むこと 松本晋一／68
書評 上田精一『子供をいつも真ん中に』／74
外来語から学ぶ英単語⑮ 藤原 宏／78
げっかん ぎひょう／78
鶴鶴短歌会 五月詠草／79
『資料探索』人工孵化／80
マイ・文庫本 わたしの「女工哀史」白城松男／82
くまがわ学習塾⑥／85
字図で見る球磨の地名⑭ 上村重次／86
方言を味わう⑫ 前田一洋／88
山に行こうよ！⑥／90
いもご短歌会／91
上杉芳野の「あがつ段」⑬／93
前号「くまがわ学習塾⑤の答え」／94
くまがわ狂句 村上鬼拳／95

特集

エンブリー夫妻と須恵村

ジョン・フィ・エンブリー

1908年（明治41年）8月26日、アメリカ・コネチカット州で生まれる。1926年（昭和元年）11月、両親に連れられて初めて日本を訪問（当時、彼は17歳の高校生）。1931年（昭和6年）、ハワイ大学で学士号を取得。1932年（昭和



ジョン・フィ・エンブリー

7年）、日本訪問。帰国後トロント大学に移る。同年12月エラと結婚。1933年（昭和8年）、長女クレア生まれる。1934年（昭和9年）、トロント大学で修士号取得。同年シカゴ大学に移り、ブラウン教授（1881〜1955年）の指導を受ける。

1935年（昭和10年）8月、エラ、クレアとともに訪日。同年11月から須恵村の調査を開始。翌年帰国。1936年（昭和11年）博士号取得。1939年（昭和14年）、『須恵村』を出版。1950年（昭和25年）12月22日、飲酒運転の車にはねられて

一緒にいた長女クレアとともに死亡。享年42歳。

本誌でエンブリーというときには、ジョンを指すことにする。『須恵村』のほか、「日本」、「日本人」、「日本の民謡」、「機多」などの著作がある。

エラ

1909年（明治42年）2月20日、ロシアのニコラエスで生まれる。1917年（大正6年）のロシア革命。1919年（大正8年）、日本に移住。1926年（昭和元年）、神戸のカナディアン・アカデミーを卒業。同アカデミーには、ハーバート・

ノイマン（1909年〜1957年）がいた。1927年（昭和2年）、カルフォルニア大学バークレー校に進み、1931年（昭和6年）に日本に戻る。1932年（昭和7年）、ジョンと結婚。1955年（昭和30年）、フレデック・ウイズウエルと再婚。

1951年（昭和26年）、1968年（昭和43年）、1985年（昭和60年）の計3回、須恵村を訪問。1982年（昭和57年）、『須恵村の女たち』を出版。2005年（平成17年）8月16日永眠。享年96歳。



エラ

本誌では、エラまたはエラ夫人とする。

須恵村

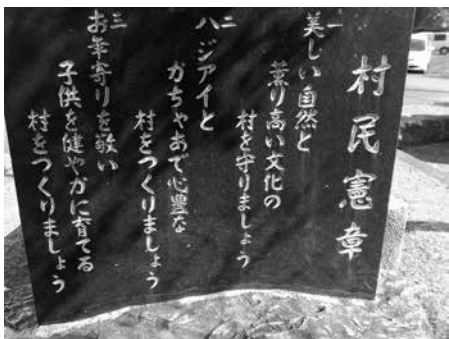
1989年（明治22年）、町村施行により成立。

2003年（平成15年）、上村・



旧須恵村役場（球磨郡あさぎり町）

免田町・岡原村・深田村と合併し、あさぎり町ができ、現在では、あさぎり町須恵地区とよばれている。合併前の面積は17・98平方キロメートル。2000年（平成12年）の国勢調査では、総人口は1471人であった。ちなみに、エンブリー夫妻が調査した時点の人口は1663人、戸数285だった。



役場横にある旧須恵村の村民憲章。「ハジアイ」という言葉も刻まれている

エンブリー夫妻を読む①

上村雄一

先日、エンブリー夫妻についての本格的な評伝が刊行

された。田中一彦著『忘れられた人類学者』（2017年3月1日 忘羊社）である。私たちは、田中さんの作品を高く評価する。日本全体からすればエンブリー夫妻は「忘れられた人類学者」かもしれない。しかし球磨川流域の者にとってはそうではない。「須恵村」はいつも身近



忘れられた人類学者（ジャパノロジスト）
～エンブリー夫妻が見た〈日本の村〉
田中一彦・著
忘羊社（2017年2月17日）

な存在であった。

田中さんは、「はじあい」という言葉（方言）に具現されている共同体の「相互協力」的側面に注目し、それを浮き彫りにする形で『須恵村』を要約し、エンブリー夫妻の作品に光りを当てた。多くの人は田中さんの作品を読むとき故郷（共同体）の「やさしさ」、「旧き良き時代の風景」を想起するであろう。加えて田中さんはそれを過去のものとしてだけでなく、現在の共同体の構造につなげる形でエンブリー夫妻の業績をまとめた

私たちは、田中さんの作品も参考にしながら、エンブリー夫妻の業績をみていこうと思う。それは球磨川流域の150年を考えうえでの基礎作業になろう。

★田中さんの著作については本誌14号で東慶治郎さんが

書評なさっている。味のある紹介である。ぜひ読んでいただきたい。

★私たちは、田中さんの指摘にすべて賛成しているわけではない。特に、共同体論には無理があるように思う。

★以下、敬称はすべて省く。

『菊と刀』と『須恵村』

田中は、ルース・ベネディクトの『菊と刀』に注目し、同書とエンブリー夫妻とのちがいを強調する。なぜ『菊と刀』か。それは「忘れられた人類学者」のタイトルに示されているように、『菊と刀』が広く読まれているのに対して、『須恵村』に対する評価が不当に低いという田中の



菊と刀
ルース・ベネディクト著
(講談社学術文庫)

問題意識に根ざしている。両者の相違は両者の販売部数のちがいに反映し、その

一点をみて、エンブリーに対する注目度が低いという。しかも、『菊と刀』では日本の姿はみえてこない和田中はみている。田中によれば、『菊と刀』ではなく、『須恵村』に注目すべきである。本当にそうであろうか。田中の指摘の意味を確認するためには『菊と刀』も読まなければならない。『菊と刀』は須恵村から遠い著作のようにみえるけれども、田中によれば、本当は直ぐ隣にいる。それは、ベネディクトが『須恵村』を重要な参考資料として利用しているという周知の事実だけにあるのではない。両者の日本論は根本的にちがう点にもある。たとえばエンブリーは『菊と刀』に対して批判的書評を書いていた。長くなるが、エンブリーの考え方を理解するために田中から引用する。

「ベネディクト博士の総合的な分析に対する一つの批判は、日本は古い文化でありアメリカは新しい文化だという事実を無視していること、そして二つの国家の幾つかの文化的な相違は、この事実に負っているかもしれないということであろう。来る日も来る日

も同じ隣人——と顔を合わせねばならない村に縛れた農民に比べると、開拓者と放浪者はずっと利己的なほら吹きに見える。開拓者や匿名の大都市住民よりも、日本人のような古い農民文化で暮らす人は、礼儀と互いの義務により細かい気配りをするだろう」

エンブリーのこの指摘をどうみるべきであろうか。単純には、「古い文化」と「新しい文化」、「村に縛れた農民」と「大都市住民」という二項対立的に日米を比較しているかのように見えるが、そのように理解してよいであろうか。田中は、これを、



ルース・ベネディクト

「ベネディクトが批判的に取り上げた「義務」は、エンブリーにとっては共同体の中で一方的に負わされる被害や身分関係による恩義でも、単に束縛され自分を抑えるだけでもない。丸山が

批判した部落共同体の「旧慣」の半面であり、互いの義務への「細かい気配り」は、同時に自発的なものである。」

とする。引用文中に登場する「丸山」は丸山眞男を指すが、右のように指摘したのち、田中は、さらに云う。

『「菊と刀」』は、日本占領を前提にした戦勝国の立場に立った典型的な日本論である。『義務』や『義理』、『恩』を重んじる日本人の国民性や特徴を『文化の型』として掘り下げ、敗戦によって自らの立ち位置を見失った日本人に二つの指針を与えた。

あくまでも独断だが、私は丸山（眞男）、大塚（久雄）、ベネディクトが日本で評価された理由に二つの共通点を見る。それは、三人とも欧米の眼差し、価値観に基づいて日本を見ていたのではないか、という点だ。それは都市の価値観でもあった。加えて現実を追認したり実生活に引きつられたりするのはなく、丸山の主張によれば原状肯定型の『である』社会から改革型の『する』社会への転換（日本の思想）

を求めて雄弁な理念や思想を掲げることとする思潮があった。

対して、ベネディクトが重要な参考文献とした『須恵村』には、欧米中心主義的な上からの眼差しがほとんど感じられない。日本人が見るムラと同じ目線による日常の暮らしの描写に、意外性や新奇性、批判性が欠けているのは当然かもしれない。『須恵村』、『日本国家』とエンブリーは、『菊と刀』とベネディクトの影に隠れた、と言ってもいい。（273～4頁）。

丸山批判



丸山眞男

丸山とエンブリーのちがいを強調するためであろうか。田中はなかなか手厳しい。丸山は確かに封建的共同体のなかでの個人の埋没と、そのなかからの個人（自我）の脱出・

創出に力点をおき、封建制から近代への移行を当為とする近代化論の立場から戦前日本を批判的にみたうえで、戦後日本の課題を民主化（市民社会の実現）に設定しようとしたとひとまずは要約していいであろう。

ところで田中は、丸山による「個の確立」の主張は間違っていないという。田中によれば、それはいいとしても、問題は、丸山が「共同」や「自治」という、民主主義にもつながる共同体の側面を認めず、意識的に切り捨てている点にある。これは、田中の主張の核心である「欧米的・『都市の価値観』との断罪は先に引用したエンブリーによるベネディクト批判に連結している。

サインとゾーレン

ここで「である」と「する」に一言しておく。「である」は社会の「構造」サイン（Sein）を指し、社会の「あり型」と関係しない。それは、あくまでも分析の対象を意味するであろう。実際、丸山らはその正確な分析を課題として認識したのではないか。



寛井の渡しがあった舟場
稲荷神社下の瀬



U88 [川瀬・寛井の渡し、1936]



今は、ひっそりとした平山集落



日本の村「須恵村」をゆく

今回の特集を組むために、かつてエンブリー夫妻が滞在した、あさぎり町の須恵地区を訪ねてみた。いたるところにその足跡が残っており、興味深い散策となった。(編集部)



あさぎり町須恵支所にある展示品。右はエンブリーが愛用した椅子



舟場稲荷神社に保存されている寄進者の木板には「ジ・エンブリー」の名前が。



丸山眞男セレクション
(平凡社ライブラリー)

で丸山は次のように言う(302頁)。

「日本が
「国を開」

西欧の市民社会を実感しないにもかかわらず、その「超克」が簡単に持ち出されることの問題性は説明したものだが、それを別にして、「開国」時の西欧社会の状況を正確に述べている。たとえば、維新前夜の1867年(慶応3年)9月14日に、マルクスは『資本論』第1巻を出版している。

【うえむら・ゆういち／編集主幹】
(つづく)

いた十九世紀後半の国際社会が、まさに政治上経済上の動向でも、また思想文化のあり方の上でも、ヨーロッパ的近代の大きな転換期にあり、現に「危機」を叫ばれている諸徴候がはじめていたという現実が日本の「近代」理解に模倣の側にも反撥の側にも早くから複雑な陰影を与えてことは、免れぬところであった。その限りで、欧化主義とともに、「近代の超克」的思想もほとんど同時に登場する運命にあった。」

河口から上流まで、その駅を訪ねる

球磨川の駅・ものがたり



連載その⑮ くま川鉄道・人吉温泉駅

熊本産業遺産研究会 松本晋一

はじめに

さて今月号で、この「球磨川の駅ものがたり」も15回目を迎えた。前回の人吉駅で「球磨川の駅 前半部、肥薩線川線の15駅が一段落。この物語も今回から旧国鉄「湯前線」、今の第三セクター運営「くま川鉄道」に乗り換えることになる。この湯前線の営業キロ数は24・8km、始発駅の人吉温泉駅を含め終点の湯前駅まで大小14の駅があるが、球磨川の流れは途中、二つ目の川村駅の東で球磨川本流と支流川辺川への二つに分かれる。そこまでの人吉温泉駅、相良藩願成寺駅、川村駅の3つが球磨川の右岸駅、その先の11駅はすべて左岸に存在する。球磨川本流とくま川鉄道各駅のこれまで（歴史）とその物語を、分る範囲、

誌面の許す範囲で記してみたい。

日肥鉄道運動と湯前線

まずは「湯前線建設概要」他から「湯前線の歴史」を少々紐解こう。日肥とは日向と肥後を結ぶの意で、大正8年2月5日付人吉時報に「当郡最大の急務」と市房山人が鉄路必要を寄稿、同紙2月25日号にも「日肥鉄道は本郡にとりて肥薩線開通に次ぐ大問題なり」として日肥鉄道開通運動を開始。さらに「人吉時報の公選により池松豊記氏他10名を選出。二位の田代離三氏、三位の吉田克己氏は東都新聞の理事として天下に恥ずかしからぬ人なり、云々」とあり、日肥鉄道運動は水面下での誘致も進行的ことが判る（吉田克己は寺町出身の一井正典と親戚、墓

所も並んで永国寺にある）。

湯前線は日肥鉄道計画の熊本側路

線として大正9年（1920）帝国議会で予算成立。工事は大正11年10月1日起工、2年後の大正13年（1924）3月31日に全線開通。「地勢概ね平坦、球磨郡東部に向いて平野を横断し球磨川の源流に遡りて走行し将来日向の杉安と連絡せん

とす。沿線には林産の無尽蔵あり、物資の豊饒なる地方開発と相まちて良好の榮養線たるを失わず」と、この地域の林業の豊かさと背景に宮崎への鉄路結節が総説に謳ってある。

路線工事は人吉多良木間の第1区、多良木湯前間の2区に分かれ、何れも西松光治郎の請負で完成。

大正13年3月開業時は人吉、肥後西村、一武、免田、多良木、湯前の6駅である。人吉駅にはこの時、4、5番線ホームが設置され、併せて跨線橋も延長された。

この湯前線開発主旨は湯山の横谷峠を越え、宮崎県杉安にて国鉄妻線との連絡予定線で、その間54kmはすでに当局の測量計画済みと「球磨郡誌」に見られ、日豊本線の佐土原駅を結ぶ九州横断線として計画された



湯前線平面図及び沿線風景（大正13年3月の開業記念絵葉書より）



もの。この横断新線完成こそが人吉球磨の産業・観光と南九州交通体系に大きな変革をもたらすと記されている。

湯前線は昭和期、国鉄時代終焉までの39年間、戦前、戦後の幾多の波濤を越えるが昭和60年1月、赤字経営の国鉄は「経営改革案」で湯前線を62年度末廃止、第3セクター方式、



国鉄時代戦後のディーゼルカー(昭和30年5月)



国鉄時代末期のディーゼルカー(昭和60年7月)



くま川鉄道開通式(平成元年10月1日、各福井弘氏)

湯前間24・8 kmをD C車輛(「ディーゼルカー」)7輛での運行を開始する。くま川鉄道移行当初は八代熊本方面への相互直通運転もあったが、現在は人吉・湯前間の運転のみの運行。人吉温泉駅は旧国鉄線の4番5番線がくま川鉄道・湯前線専用ホームとなっている。

現駅は全部で14駅、当初の6駅から5駅(東人吉・川村・木上・東免田・東多良木)を増設。第3セクター移行期に「おかげさまで幸福」「公立病院前」「新鶴羽」の3駅をさらに増設。運用もJ R九州時代の9往復から、くま川鉄道移行時は15往復に増便、開

人吉温泉駅

業2年目の平成2年度には141万人が利用した。その多くは球磨工業(人吉温泉駅)、人吉(相良藩願成寺駅)、球磨商業(肥後西村駅)、南陵(免田駅)、多良木(多良木駅)の沿線5高校が乗客の主体を成したが、自動車数の増加と乗客及び生徒数減少もあり、昨年の広報人吉10月号では、特集「私たちの鉄道をいつまでも」を企画、くま川鉄道の今後の生き残りへの取り組みを訴える現状がある。

球磨川沿いの人吉球磨には43力所の源泉が湧き出ている。開湯時期は不明だが、室町・戦国時代の延徳4年(1492年)には肥後国を支配した第12代相良家当主相良為統が入湯した記録も残っており、この地は500年以上の歴史ある古湯である。

る。沿線の地名や球磨川沿岸にも湯元や湯前、湯山などの温泉に由来する名称が古くから存在する。最近、温泉紹介本も出された。

「人吉温泉駅」のこの名称は「人吉が温泉の街」であることに因む。人吉温泉の名称は紅取陵を対岸に望む林温泉、そこでの明治42年の新開削(前号揭示)から、それが大正昭和の急速な温泉掘削ブームにもつながるのだが、駅通りの新炭業・永見三郎氏は昭和6年、当時の上総掘りで現在の新温泉、元湯、昭和温泉他5力所の各温泉を開削。



くま川鉄道の今後を訴える特集号



人吉温泉駅名も英中韓国語と賑やか(後方は村山古墳遺跡)



人吉球磨の温泉紹介本



くま川鉄道本社屋



くま鉄車輛基地、田園シンフォニー気動車庫

自動券機でも買える。ホームの名所案内には「相良三十三観音」近くは駅から0.7 kmの瀬原観音、球磨川下り（人吉大坂間18 km）、遠くは市房山が記されている。大正13年の開業記



くま鉄本社前の旧球磨木材同業組合



現在の住友生命ビル（左は元国鉄職員寮）

庫跡周辺に位置する。現在は5輛の気動車（KT501～505）が稼働している。その昔、この本社屋周辺は国鉄職員舎宅、木材・木炭関係の会社や商店が多くみられ、今でもその名残が少し残っている。

くま川鉄道（湯前線）人吉温泉駅ホームへの順路は、人吉駅正面のゲストハウス「くまたび」（沿線の観光案内や旅行業務全般、くま川鉄道グッズを取扱う）の前を抜けてくま鉄跨線橋を登り、橋中

線橋を登り、橋中

る方法と、JR肥薩線の1番ホーム東端のホーム踏切を渡り、2番3番ホームから次の踏切を渡れば正面に出札事務所（駅舎）があり、そこで乗車券が購入出来る。同じくホーム東寄り階段下の



ゲストハウス「くまたび」（この右手⇒くま川鉄道入口）



当時の上総掘り（昭和6年新温泉）



駅前通り温泉ネオンサイン（昭和12年）

昭和29年の市内地図では中青井・下青井町の駅周辺部の温泉だけでも青柳・朝陽館・早瀬・人吉・芳野・旭の各旅館、公衆浴場では新温泉・中央温泉がみられ、人吉温泉駅の名称とも合致する。

昭和温泉には地元初のネオン看板点灯、駅前商店街（今のときめき通り）にも、坂内義雄らと共にネオンサイン（昭和12年）を設置するなど、昭和期の人吉温泉ブームをリードしたとのこと。当時の泉質は無色澄明、弱アルカリの単純温泉で、胃腸病・痛風・リュウマチ・神経痛に湯治効能があるが、球磨川の右岸左岸、織月大橋の上流と下流ではその泉

質は異なるとされる。その時代、鉄道省や門司鉄道局による観光と温泉紹介、旅行パンフによる発信など、鉄道観光による町興しに一役買ったことも、全国各地の温泉ブームに火が着いたようである。現在、人吉温泉の泉源は人吉市内で30カ所、泉都ひとよし」としても十分な数と量である。



当時のままの新温泉



新温泉浴槽（機銃掃射跡も現存）

2009年4月1日、駅の命名権を有する副名称は「神城文化の森・人吉温泉駅」となった。

くま川鉄道本社周辺と見どころ

くま川鉄道本社は人吉市中青井町265番地、人吉駅正面右手、やまぐち駅弁の裏手に在る。検修庫及車輛基地は湯前線ホームの北側、人吉市城本町491-3に在り、場所は明治末の人吉駅開業当時の初代機関

念絵葉書の沿線名勝案内には願成寺（人吉駅より10町余）、京ヶ峰古墳（球磨川鉄橋より下流2町余）、県種畜場（二武駅より1里余）の3カ所の記載が見られるが、両者にも隣接する村山古墳群の記載のないのは不思議である。

球磨川と駅・青井阿蘇神社

人吉（温泉）駅と球磨川との関係では、当初人吉機関庫に上青井町の球磨川べりの井戸（手塚病院裏手）から飲料用と機関庫用に球磨川の水を直接引いたとのこと。その名残が今に残る（エマークの石柱）、以前はこ

こに木造のポンプ小

屋が在った。

また、昔

から人吉の地を出立する時には、

まず青井阿蘇神社にお参りをして、

近くは汽車での旅立ち、遠くは江戸時

代、相良の殿様の参勤交代の折にも、川下りの際は禊川口から青井神社を参拝。今でも鳥居正面の出入口（細い金刀毘羅宮通り）から、球磨



くま鉄用跨線橋と連絡路



くま鉄駅舎



4番ホームの名所案内



階段下の券売機



機関庫用ポンプ小屋跡

川に抜けた場所（禊川ノ瀬）に赤鳥居の乗船場がしっかりと存在する。

この金刀毘羅宮（旧お旅所神座）通りの起点、青井阿蘇神社は平成20年6月に熊本県の文化財で初めての

国宝指定となり、1昨年の球磨人吉の日本遺産認定と併せて観光客も急増して来ている。八代港の大型クルーズ船や来春のクルーズトレイン「ななつ星in九州」の人吉立ち寄り観光にも合わせ、由緒あるこの地（禊川口）からの球磨川下りの発着演出があれば、

興味深いものになるのでは。

《参考資料》（前掲資料は省略）

・「日本鎮泉誌」内務省 明治19年2月

・「球磨郡誌」球磨郡教育支会発行 昭和16年8月25日

・「川野廉遺稿集」翠嵐楼 平成8年1月
・旅窓全書第2回「九州各線」昭和36年7月 修道社

・広報人吉 2016年10月号

・「週刊鉄道の旅37・九州5」2003年10月23日 講談社

・「人吉温泉本改訂版 どうきやん別冊 平成29年

○資料協力…くま川鉄道KK、朝陽館、新

温泉、福井弘氏 翠嵐楼 青井阿蘇神社

○聞き書き…福井弘氏 永見明子氏 川野

加奈子氏 松島健氏 宮崎貴充氏

前号訂正事項…昭和2年4月26日、人吉駅前の大火では駅舎の消失は免れたが、駅構内の一部（シート乾燥場、浴場、官舎板塀）を焼失した



金刀毘羅宮通り（正面奥が発船場）



参拝用発船場（球磨川横）



新旧の青井阿蘇神社の比較（明治末の木橋からセメント造りへ変化）



新の文化財で初めての



【アオサギ】全体が青灰色で、大きさが 90cm 以上あり、サギ類中では最も大きい。湿地・河川・沼地に棲み魚を食べる。これは、足で水をかき回し小石の陰から逃げ出した魚を捕える様子



野鳥あれこれ

撮影／小川 一弥

【イソヒヨドリ】 全長が約 30cm で、雄・雌ともに独特の色彩を持つ。ホイピーチョイチョイ、ツツピーなどと良い声でさえずる。球磨村渡の小川と球磨川合流点の水位観測用電灯に止まっていた。



【ジョウビタキ】全長約 15cm。これはオス。メスは体が灰色味のある茶色



【キジ】80cm 位の大きいキジは最近、人工増殖をして放鳥されている



ハイタカとシラサギ
今年の春、自宅近くの小川からギヤーギヤーギヤーと4、5匹のシラサギが水辺から飛び上がってきた。東の方から1匹のハイタカがすごい速さで飛んできて、1羽のシラサギを捕え、しばらくしたら足で頭をつかみ山の方へ飛んでいった。



【バン】

黒い体に赤いクチバシ、足は黄緑色で、足指が長い。主に夏鳥として渡来するが、関東以西では冬も残っているのも多い。発船場近くの球磨川でも数多く見られる。これは人吉市瓦屋町で撮影。

前号まで紹介した「ヤマセミ」「カワセミ」の他、流域には様々な野鳥が生息している。今回は球磨・人吉地方の鳥をダイジェストで紹介します。

定吉が行く

— 15 —



© Keiichi Murakami

九州相良藩「吉組」大番頭 鳥飼 博

クランクイン

撮影が開始されてからは、雨が一滴も降らない暑い日が続いていた。

熊本市で撮影が行われる予定だったが、熊本地震により急遽人吉市での撮影となった映画「おじいちゃん死んじゃったって」は、8月10日にクランクインした。熊本市内のスポンサーの多くが被災してしまい、キャンセルが続出したそうだ。撮影資金が潤沢であればカメラも数台使用できたであろうに、たった1台での撮影であった。同じシーンを、カメラの位置を変えらる度に幾度も演じなければならぬ。あまりの暑さにカメラの温度が上がってしまい、人間より



森ガキ監督やスタッフとの初会合

先にカメラを休ませる状況であった。俳優陣は冷房機のある室内で休憩できたが、地域の高齢の方々や我々は軒下やブルーシートを屋根代わりした簡易の休憩所で汗を拭きながらカメラの復帰を待った。

吉組の大半は、亡くなったおじいちゃんの隣保の人の役であった。地域の高齢の方々も、うだるような暑さの中で練習と本番、そして休憩を繰り返していたが、とても辛そうだった。高齢の一人の男性が「こん映画は、

【おがわ・かずや／全日写連・熊日フォトサークル会員、球磨郡球磨村】



【オオハクチョウ】

全長が、140cm以上で、体重が10kg以上にもなる大きい渡り鳥として主に北日本や日本海側に渡来し、湖沼や内湾、河川、河口などにいる。水草の根や茎などを食べる。

これは、渡駅裏の球磨川に飛来した2年前の12月初旬、お昼近くに友人が来て、球磨川にオオハクチョウが来ていると教えにきたので食事も取らず、カメラを持ち小走りに渡駅裏の球磨川へ行った。200m上流に2羽の大きい白い鳥が見えた。今までに見たことのない大きい鳥であった。



Facebook
ページだより②

文化発信！
やつしろ Style



【ページ情報】「八代城ものがたり」の普及促進と文化関連情報の発信を目的として、歴史上の八代の出来事や八代にゆかりの事柄を書き綴っています。

<https://www.facebook.com/YatsushiroBunka/>

いつ公開になつとな？」と、スタッフに尋ねると、「人吉での撮影が終わると、インドでの撮影があります。その後、編集作業をしますので、来年の秋頃の公開となる予定です」と応えた。すると、その老人が地面に視線



おじいちゃんの回想シーンの獅子舞メンバー

を落としたまま、「来年の秋なあゝ。俺ら、そんなじゃ生きとらんかも知れんなあゝ」と言った。隣に居た老人が「じゃんなあゝ」と笑って言ったが、周囲に居た私たちは、本当にそうなるかも知れないという気持ちの底に在り、笑う者は居なかった。映画のおじいちゃんが亡くなり、通夜式そして葬儀式までのシーンはお盆前と14日の2日間で撮られた。この2日間は俳優さんたちと一緒にだったので、森ガキ監督から「相良藩吉組の定吉さんとメンバーの方々です」と紹介していただいた。

斎場で行われた葬儀式のシーンには、多くの人吉市職員にも参加いただいた。

老人と吉組メンバーばかりで撮

られた通夜式シーンと比べると、市職員の皆様のお陰でかなり若返ったメンバーに、助監督とスタッフから詳細な葬儀式シーンについての説明があった。説明の終わりに、撮影がスムーズに進むには、カット毎の指示に従うことが大切だと助監督が告げた。

斎場でも、撮影前からエアコンを最高にしても体調を崩す方が出るほどであった。

様々な事情で1日だけで撮影を終えなければいけないという葬儀式シーンについては、映画関係者だけではなく、全ての参加者も同じく真剣な表情だった。

森ガキ監督の「場面〇〇、スタート」の声が館内に響き、撮影が始まった。

森ガキ監督の撮影には、笑いをとるシーンが含まれる。緊張した雰囲気

の中なので、笑い声を押し殺すのに苦労する。監督の「カット」の声で緊張が緩み、皆が笑顔に戻る。17時終了予定であった葬儀式シーンは、参加者の協力により、16時過ぎに終了した。

その日の午前中には、場末のスナックでの撮影が行われた。スナックのマ



隣保の人

マの衣装が小さく、背中のジッパーは上げないままで撮影が行われたとの情報もあった。このスナックのママが、【銃吉】である。当初は、機関銃の様にしゃべり続けるので【機関銃の銃吉】と命名されたが、お店をやっているママなので【マスカットの銃吉】と、

定吉が改名をした経緯がある。衣装が合わないことが分かった銃吉は、美術スタッフに「私はLサイズの衣装をお願いします」と言ったのに、映画の世界ではこのサイズがLサイズなんですか？」と、冗談交じりに毒を吐いたらしい。森ガキ監督は笑いながら「ママさんご免なさい。時間がないので、後姿を撮らない様に撮りましょう」と、銃吉のご機嫌を取って撮影をしたそう。

斎場での葬儀式シーンの撮影が終

わると、吉組メンバーの撮影シーンは終了となる。定吉の疲れた表情の中には、役目を果たしたという安堵の気持ちが表れていた。

定吉は、「後は、監督に任すっしかなか」と言った。

15日には人吉市恒例の花火大会があるので、映画撮影も休みにするとの話であったのだが、鬼の久保助監督の指示で撮影が行われた様だ。監督は若く優しい方なのだが、助監督は顔からは予想できないほど厳しかった。

【荒吉】から、撮影カメラマンの今村さんが熱中症で点滴を受けたとの連絡があり、すぐに見舞いに行こうとしたら、点滴が早く落ちる様にスタッフたちが点滴の袋を掴む様に押していたので、もう点滴が終わり現場に戻

りましたという。助監督の指示ではあろうが、なんとも恐ろしい人たち



クランクアップの打上げ

である。

映画では、台本にある田舎の総合病院的な施設として、外山内科胃腸科病院を使わせていただいた。外山病院でのシーンは撮り終えていたので、スタッフに異常があった時にはお世話になっていたらしい。先生や看護師さんが居ない隙にやらかしたらしい。全てに余裕がない証の様な出来事であった。その様な中、医師会の皆様にも大いなるご支援を頂いたそうである。

クランクアップ

撮影は順調に進みクランクアップの前日に、「明日の撮影終了と同時に打ち上げを行いますので、吉組の皆様も参加して下さい」と、

島プロデューサーから連絡があった。

打上げにも参加しないで帰るスタッフもいるらしい。ぎりぎりの日程でクランクアップとなったのが分かる。

打上げ会場は、居酒屋のシーンで利用させていただいた「京たる」。京たるさんにも大変お世話になった。打上げの席にもご参加いただき、スタッフたちと笑顔で語るママを見て嬉しかった。

森ガキ監督から、スタッフへの労いと、私たち全ての協力者への感謝の言葉があった。監督が、もう次の映画の題名が決まったと言う。次作は「おばあちゃん 死んじゃったって」。全員が笑って乾杯となった。

【とりかい・ひろし／人吉市】



最近のおもな出来事

- 5月21日(日)
 - ▽熊本地震チャリティ歌謡フェスタ(人吉市カルチャーパレス)
 - ▽第31回織月まつり(人吉市新町織月酒造敷地内)
 - ▽ヒステリアテラス五木谷イベント「炭窯の炭出し」(五木村同施設)
- 5月26日(金)
 - ▽第22回坂本町100人会議
- 5月27日(土)
 - ▽人吉球磨地域「医療と介護連携研修会」(人吉市カルチャーパレス)
- 5月28日(日)
 - ▽「人吉・球磨山頭火の会」市民講座(人吉市東西「ミセン」)
 - ▽石塚まみコンサート(ひとよし森のホール)
 - ▽ツクシイバラ「ランニング大会」(錦町球磨川河川敷)、ウオーキング大会(くま川鉄道「おかどめ幸福駅」スタート・ゴール)
- 5月28日(日)
 - ▽熊本地震復興祈願「第32回ふる郷愛鏡祭」(八代市鏡支所・鏡文化センター周辺)
 - ▽MOZUCAステーション2周年記念イベント(人吉市同施設)
 - ▽ツクシイバラ公式発見100周年記念「音明屋イベント」(サンサート)(錦町上駅近く広場)
- 6月1日(木)
 - ▽球磨川水系「鮎漁解禁」
- 6月9日(金)
 - ▽人吉書道連盟展(11日、人吉市イースミ本店地階イベントホール)
- 6月11日(日)
 - ▽映画協第104回名画会「スウィングガールズ」(あさぎり町深田せきい館)
- 6月13日(火)
 - ▽球磨の焼酎学校ウエルカムパーティ(人吉市・翠風楼)

今月の二言

『文読む月日』

(レ・トルストイ編著
北御門二郎訳) より

人生は、それが人生の掟の、換言すれば神の掟の遂行である度合いに応じて、善き人生と言うべきである。

表紙写真

球磨郡あさぎり町須恵地区にある「阿蘇神社鳥居と阿蘇釈迦堂」

エンブリー夫妻ゆかりの須恵地区を訪ねた5月下旬は田植えの真っ盛り。かつては、この田んぼの位置に長い参道があり、鳥居をくぐって阿蘇神社に参拝したという。

撮影 松本学(編集部)

5月26日、第2回 坂本100人会議、開催される

「坂本町の遊休施設・空き家の利活用」をテーマに約60人が参加した。

参加者は5つのグループに分かれて活発に提案をおこなった。「荒瀬ダム撤去に伴う地域づくり部会・100人会議チーム」が主催。同会議に先立ち、5月14日、同町葉木地区のポートハウスの見学会が実施された。ダム



約60人が参加した第2回会議



荒瀬ダム ポートハウス

撤去にともない同ハウスの利活用が課題になっていた。

同町は高齢化率52パーセントの地域だが、若者の参加が目立った。参加条件を坂本町住民に限定しなかったことも若者の参加増加につながった。参加者の意見・提案は、現在、集計中である。

参加者からは、意見・提案をするだけにとどまらず、それを具体化する方法について踏み込んで議論すべきであった、他地域でも同様の課題をかかえているのであるから、そうした地域での取り組みをまとめ

て資料として配布すべきであった、制度上の制約をもちださずに夢を語れるようにすべきである、女性参加者が少なく、男性中心の会議になってしまった、無理に結論を出す必要はなく、会議を開催し意見を出し合うことだけでも地域に活力をもたらすなどの声があった。

テーマとは別に、町内の地域活動の紹介もあった。そのなかで、坂本住民自治協議会は、今秋に、「国際児童絵画展」を開催すると発表した。



国際児童絵画展のポスター

三浦雄一郎氏を描く

この稿を書くころと思った日の朝、ラジオが「きょうは何の日」で三浦雄一郎氏のことを語った。世界初のエベレスト滑降、三キロメートルを二分二十秒で滑った。大阪万博の一九七〇年（昭和四十五年）。これが大きな話題となり、方々で講演を頼まれるようになった。私が住んでいた江戸川区にも来られた。

多分、私は一番前の席にいたのだろう。かの大人物をしつかりとらえようと、夢中で描いたにちがいない。話もよく聴いたつもりだが、日頃から重さ二十五キロの靴をはいて歩いているということだけが記憶に残っている。

大きな話を聴いて、私の心臓も強くなったのか、三浦氏にサインを願ったらしい。左側の走り書き風の線は、三浦氏によるものである。私の急務は身辺整理なのだが、こんなのが出来るので、ちっともはかどらない。

【さかもと・ふくじ／画家、人吉市】



その ⑮

絵と文／坂本福治

記憶の落穂

石橋を訪ねる

⑥

上村 和代

内野眼鏡橋

葦北郡津奈木町千代

民家から川を渡って農地へ向かうための自家用の石橋である。現在も現役で使われているため、通路面はコンクリートで舗装し、鉄製の手すりもほどこされている。一見すると石橋とは気づきにくいのが、側面から見ると輪石のアーチはしっかりと残っており、土台は石橋が支えているのがわかる。架橋年不明。石工は岩永三平と伝

寺前眼鏡橋

葦北郡津奈木町千代

近くの高台には浄土真宗本願寺派光明寺があり、その名のとおり寺前に架かつていた橋である。橋のある道は、いまでも農地を走る一般道だが、かつては薩摩街道だった。

嘉永二年（1849）、この橋のある辺りは、大雨や梅雨の時期には川が増水し、街道を通る多くの人が困っ



「内野眼鏡橋」

津奈木町指定文化財（昭和50年11月26日指定）

ていた。そのため、眼鏡橋を架けようと山田清栄という地元の医師が銭

三貫七百四十拾目余を献金。それに地域の年貢も加えて四貫九拾目余調達し、建設資金に充てた。嘉永七年（1854）に橋が完成してか

らは、大雨や洪水でも安全に川を渡れ、便利になったということが、十九世紀の熊本藩住民評価・褒章を記録した資料「町在」に残っている。

残念なことに現在、橋の姿を直接見ることはできない。道路改修により、橋の上にコンクリート製の橋ができたためだ。しかし、川の土手に降りてよく見ると、眼鏡橋と新設橋の間には数センチの隙間があり、旧橋に負担がかからないようになっている。これが、たまたまなのか、なにかの意図があったのかかわからないが、結果とし

て眼鏡橋の保全にもなっている。

嘉永七年（1854）設置、橋長8.0メートル、橋幅3.2メートル。石工の名は不明。



「寺前眼鏡橋」

津奈木町指定文化財（昭和50年11月26日指定）



中村眼鏡橋

葦北郡津奈木町岩城



「中村眼鏡橋」
津奈木町指定文化財(昭和50年11月26日指定)

重盤岩眼鏡橋から川下へ向かって三つ目の橋にあたり津奈木川と支流の千代川の合流点に架かる。

この橋も通行量の多い現役の橋であるため、通路面はコンクリートとアスファルトになり、欄干は鉄パイプになっている。しかし、ほかの橋と違って、押しつぶされたような感じがしない。

津奈木町に残る眼鏡橋のほとんどが田園風景の中にあつて、この橋だけは人工的な物に囲まれていることが、少し離れて眺めるとよくわかる。コンクリートで整備された護岸や車道のガードレール、新幹線の高架に変電所の鉄塔や高圧電線、建設中の高速



道路など。垂直水平に走る直線ばかりの風景の中で、美しく整えられ大さのそろった輪石のエッジの利いた断面や緩やかな曲線を描くアーチはひときわ目を引く。これも石橋造りの名工、岩永三五郎の技術を受け継いだ三平の技の表れなのだろう。

嘉永三年(1850) 設置、石材は凝灰岩。橋長13・8メートル、橋幅3・8メートル。

【うえむら・かずよ／水俣市】

『忘れられた人類学者』の縁

外山胃腸病院院長 岐部明廣

不思議な縁を箇条書きにすると、

【1】田中一彦氏の親友がわたしと同じ九大・医局の研究室で三年先輩の親友だった。彼らは修猷館の同級生。私のその親友から「岐部君、田中一彦君がエンブリーの本『忘れられた人類学者』を書いたので送るよ」という電話がかかってきた。その親友は私の大学の同級生の病院の院長をされている。

【2】私の親友からの電話があつてから間もなくして、西野さんというケアマネ(介護支援員)が私の病院に患者を連れてきた。左手には『忘れられた人類学者』の本を持っていた。彼女曰く「先生が岐部先生ですか? わたしの家によく泊まる田中一彦さんが岐部先生にお会いしたいと言っていましたよ」

【3】私が田中一彦氏の『忘れられた人類学者』の本を検査の合間に読んでいたときに、たまたま八十七歳のおばあちゃんが診察にきた。そのおばあちゃんは須恵村出身。父は須恵村のお菓子屋さん。彼女に本に掲載された写真をみせると「このお菓子を焼いているのは父です。この三人の子どもの一人はわたし。これはわたしとわたしの祖母です」と田中一彦氏の『忘れられた人類学者』の本の三つの写真は彼女と彼女の親族の写真だった。写真をみて童心にかえった彼女は童女の昔にかえったような素敵な笑顔をされた。

縁とは何とも不思議だなア。



【きべ・あきひろ／人吉市】

水は流れているほうがいい

内田次一

5月26日、八代ハーモニホール（第3小会議室）で、「ダ瀬戸石ダム湖の調査報告会」（「瀬戸石ダムを撤去する会」主催）が開催されたので参加した。講師は崇城大学名誉教授の村田茂之先生。同ダムの問題点については多岐にわたる報告をうかがい、改めて確認しておきたい問題を私見という形で述べる。

土砂堆砂問題

瀬戸石ダムは、昭和33年（1958年）に完成した。その後から土砂の堆砂が始まった。堆砂はダム湖内ですすんだ。昭和46年（1971年）、芦北側の護岸工事のために、瀬戸石ダムはダム湖の水をすべて放流した。ダム建設から13年経過していた、ダム湖の状況を見て流域住

民は驚き、堆積土砂の除去を求めた。土砂は除去されなかった。洪水被害がたびたび発生した。

平成14年（2002年）から、国土交通省は同ダムの土砂堆砂状況についての定期検査を始めた。調査結果は、「ダム湖内に過剰な土砂が堆積し、洪水被害が発生する恐れがある」とする「A」判定であった。しかし、それにもかかわらず、同ダムの管理責任者である電源開発株式会社は、堆積土砂の除去作業を実施しただけでなく、その計画すら立案しなかった。

水利権更新を3年後に控えた平成23年（2011年）に、同社は撤去計画を国交省に提出し、除去作業をはじめた。平成23年度に1万トン、24年度に3万

トン、25年度に3万3千トン、26年度に3万5千400トン除去した。しかし、堆積土砂量は減少せず、むしろ増加した。電源開発は、平成27年11月に「堆積土砂処理計画」を新たに作成し、平均堆積土砂量を1万7千トンから2万3千トンに引き上げた。それは、あくまでも平均である。大雨のときには土砂量は増える。「27年計画」は処理予定量を大幅に引き上げた。それを実行できればいいのだが、計画とおりにいくかは疑問である。除去費用は相当な額になると予想する（写真1）（写真2）。

山腹崩壊と災害

ダムは水を貯めている。降雨などによって山腹崩壊が発生した場合、ダム湖内の水がダムを越流し大災害をもたらすのではないかと不安が残る。旧坂本村（八代市坂本町）では平成5年（1993年）、台風13号によって倒木被害が発生した。植林の管理不足による倒木だった。雨量は少なくとも管理不足のときに



① 瀬戸石ダムの土砂堆砂状況（村田先生の説明）



② 土砂除去作業



③ 坂本の倒木・土砂災害（村田先生の説明）

は倒木・土砂崩れが発生する。旧坂本村の場合は、深層崩壊でなく表層崩壊であった（写真3）。

平成9年（1997年）、鹿児島県出水市で土石流災害が発生した。山の斜面が幅90メートル、長さ220メートル、深さ28メートル、16万立方メートルの斜面崩壊であった。土砂はため池・砂防

ダムを乗り越えて、死者21人、重軽傷者13人、全壊家屋19棟の甚大な被害をもたらした。その6年後、水俣市で同じく斜面崩壊が発生した。幅90メートル、長さ130メートル、深さ18メートルで、5万立方メートルの崩壊で、出水市の場合の3分の1の規模であったが、死者15名、重軽傷者6名、全壊家屋13棟の被

害をもたらした。3箇所に砂防ダムがあったが、流出した、同じような崩壊がなぜ発生したのか。出水市と水俣市は12キロしか離れていない。両者は、地質上、「輝石安山岩」という風化地域にある。このような場所では、今後も類似の崩壊が起こる恐れがある。

ダムのために大災害になった例として、イタリアのバイオント谷に建設され

柳人があじわう漱石俳句

— ⑮ —

いわさき楊子

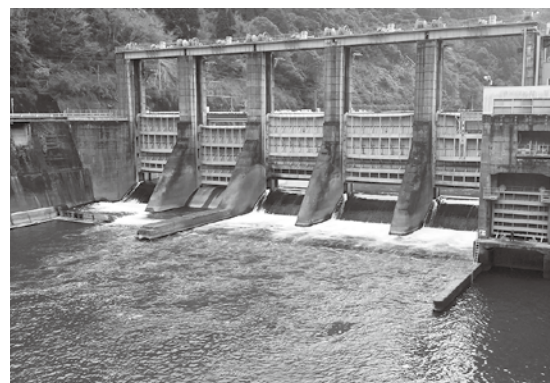


『漱石全集』(岩波書店)によると、この句から13句を井上微笑(藤太郎)に送ったものがある。微笑は熊本県球磨郡湯前町の俳人で、俳句結社白扇会を主宰していた。生れは現在の福岡県朝倉市だが、父の仕事の関係で移り住み、当時の湯前村役場に勤務する。漱石が在熊時におこした俳句結社紫溟吟社に投句し、夏目漱石選で入選を果たしたこともあり、漱石を知っていた。微笑に請われて送った13句は、漱石がロンドン留学から帰ったのち東京に住んでいたころ詠んだものである。句には、夜討・同心衆・十手・一筋町・旅芸者・鍛冶・市の灯・玻璃盤などの江戸(東京)らしき言葉が使われている。句稿には「マズキものばかりに候」という漱石の自句への謙遜の文面が添えられている。微笑は漱石と同じ慶応3年生れ。36歳どうしの若き交流だった。

愚かなれば独りすゞしくおはします

(漱石36歳)

たアーチダムが有名である。完成して3年後(1963年)、隣接の地山で巨大地すべりが発生し、土砂がダム湖に流れ込み、あふれ出た水が洪水となり、2125人の死者を出した。崩壊土量は1億4千万メートル、1分で一気に流れ下り、高さ100メートルのダムを土砂は飛び越えた。ちなみに1672年に島原の眉山が大崩壊し、3億4千万立方メートルの土砂が有明海に流れ込んだ例も念頭においておきたい。いわゆる「島原大変肥後迷惑」である。このとき、45メートルの津波が発生し、熊本で約5000人が死亡した。水の中に土砂が流れ込むと、このように大被害をひきおこす。



④ 瀬戸石ダム

球磨川流域も同様である。村田先生(専門は地質学)によると、こうした自然現象についての分析はそれほど進んでいない。殊に地震の予知については「できない」といったほうがいい。阪神淡路の地震・新潟地震・東北地震・熊本地震、これらの地震の発生を予測したものはいない。八代には「日奈久断層」がある。

今は、おとなしくしているが将来、巨大地震をひき起こすかもしれない。地震で山が崩れるか、雨で山が崩れるか、どちらとも危険性はゼロではない。水をためているダムにこんな土砂が落ちたら、大災害になる。水は、出来るだけ溜めずに流したほうが良い(写真4)。

発電利益とコスト

瀬戸石ダムは発電でどれだけ稼いでいるか。年間1億2千万円と推測されている。単純に計算すれば、水利権期間の20年間で24億円程度になる。純益はその半分程度であろう。堆積土砂の除去を徹底的にすすめていくと、そのためのコストが加算されていき、結局のところ、発電利益はほとんどない。経営判断としては、水利権は更新しない方がよい。これまで堆積土砂を除去せず、稼いだけ稼いでいた。しかし、いまは、ちがう。

【うちだ・つぎいち／八代市坂本町】

最後の13句目は留学経験を句材にした次の句。

薔薇ちるや天似孫の詩も見厭たり

(同)

天似孫はイギリスの詩人テニソンのこと。ロンドンで苦しんだ神経の病は帰ってから完治せず、学問に倦んだことが読みとれる。

10句目にある次の句にも漱石の苦渋がみえる。

能もなき教師とならんあら涼し

(同)

漱石最初の小説『吾輩は猫である』を俳句雑誌「ホトギス」に発表したのはこの1年半後のこと。西洋と東洋の精神の混乱を小説に反映していく。

継続は力 マンネリに暮らす
白白白白とでるガラポン
矮小化された向日葵が臭うつ

【いわさき楊子／川柳誌「裸木」編集人、熊本市】

悟真寺御霊殿をあるく

森山 学



写真① 山門から見た参道。奥に御霊殿

下流域の球磨川と水無川の間にそびえる八丁山、その北から西にかけて国史跡の古麓城跡が広がる。ここは南北朝時代以来の山城で、名和時代の飯盛城跡や相良時代の新城跡で構成されている。

さて今回訪問するのは八丁山の北の麓、水無川（中宮川）沿いの悟真寺である。八代駅東町線のバスで「谷」に下車、参道入口まで徒歩三分である。

悟真寺の山号は「中宮山」。その由緒は妙見中宮に始まる。妙見中宮は永暦元年（一二六〇）、二条天皇の勅

願により、肥後国司・平貞能が創建した。その神宮寺が天台宗・護神寺である。ちょうど懐良親王御墓のある水無川沿いの小さな平地にあって、今でも塔の心礎が残っている。

懐良親王は、征西將軍隠退後の天授七年（一三八二）、母・靈照院禅定尼の三回忌に護神寺に参籠し、妙見中宮に宝篋印塔を奉納している。さらに父・後醍醐天皇と母の霊牌をつくり、水無川の対岸、大平山に顕孝寺を建立し安置した。

懐良親王が亡くなると、護神寺に御墓と菩提所・悟真寺が設けられた。これによりゴシンジは曹洞宗に改められ、九州各地に八〇以上の末寺を抱える大寺へ発展する。

小西行長時代の衰退ののち、加藤清正時代の慶長七年（一六〇二）、当

初の地から高台に上がった現在地で再興された。

坂道と石段を上り山門をくぐると、再興時に植樹された夫婦銀杏がさらに続く参道の両側にあつて、この二本の枝葉がつくるトンネルの向こうに光が射し込んでいる（写真①）。光の中



写真② 御霊殿の全景

に建つのは御霊殿（写真②）である。

御霊殿は、加藤時代の再興から長い年月を経た大正十一年（一九二二）の建設。懐良親王両親の霊牌、親王自身の位牌と木像を安置する。当時、両親の霊牌は小西時代の不遇と明治時代の神仏分離を経て、八代市袋町の医王寺へ移されたままであった。それを再びこの地へ、という檀家の思いが高まつてきたわけである。

その設計を依頼されたのが建築家・伊東忠太である。実はこの伊東忠太、大御所であり、かつ異色のすごい人物なのである。彼は帝国大学（現・東京大学）の大学院に進学した最初の建築家で、工学博士を取得して日本初の建築史研究者となる。

研究者として全国の古建築を調査し、文化財保護法の前身である古社

寺保存法にも貢献した。そのフィードは国内にとどまらず、特に世界を一周した建築調査紀行は世界初の試みであった。法隆寺をギリシア神殿とシルクロードで結びつけた研究は刺激的である。

建築家としても平安神宮、明治神宮、祇園閣、靖国神社神門、築地本願寺と、正統派から、何とも奇妙な建築までを手がけた。彼の奇妙さは、幼少期から妖怪を見ることができた資質によるもので、妖怪画も得意とした。

この伊東に設計を依頼した経緯は二説ある。古麓城の支城・平山城主の松岡家の子孫にして、台湾新聞・台湾精糖社長であった松岡富雄が御霊殿の願主である。その松岡から、大日本精糖の社長も務めた藤山コン

ツエルン創始者 藤山雷太を通じて依頼したというのが一説。他説は、伊東が技師を務めた古社寺保存会の参事・中川忠純から紹介されたというものである。

ただし伊東が手がけたという記録は今のところ見つからない。それでも建設現場に伊東が訪れたと伝えられており、八代

市鏡町の貝洲加藤神社の拝殿（大正十年）も伊東のアドバイスによる、ということでは信憑性は高い。

あらためて御霊殿を見てみよう。彼が手がけた築地本願寺の



写真③ 亀腹

ような奇妙さは見当たらない。正統派である。入母屋造の三間四方の建物で、亀腹（写真③）の上に建つ。松の丸柱を長押でつなぎ、窓は連子窓と呼ばれる格子、扉は棧唐戸である（写真④）。柱の上部にある組物と呼ばれる部位は平三斗（写真⑤）である。堂内（写真⑥）の天井は折上格



写真④ 中央に棧唐戸、左右に連子窓

天井。床は畳敷きだが、本来は板敷きだったろう。日本古来の手法を正統に継承してきた和様である。このころの伊東は、「日本建築は木造から石造に進化すべき」とする建築進化論を唱えつつ、神社建築は進化の例外であり、祭神の時代の建築にすべき、と主張していた。



写真⑤ 柱の上に平三斗。渦文が禅宗様木鼻。向拝の柱のみ角柱

御霊殿は寺院だが、懷良親王は明治政府が創建を認めた八代宮の祭神でもあり、神社建築同様、懷良親王にふさわしい室町時代の南朝の様式で建設しようと努めたであろう。前述の御霊殿の建築的特徴は、まさに

室町時代の南都和様の特徴と解釈できる。ただし木鼻は宗派にもとづいた禅宗様木鼻（写真⑤）である。この点も、室町時代の和様が古来の手法に新様式・禅宗様を加味したものであること

とを踏まえれば、納得がいく。さらに天皇家としての特性は、正面の墓股に彫られた十六菊紋（写真⑦）で示される。

こうして見てみると、妖怪を見る者による奇妙な建築ではなく、建築史研究者による、地味ながらも設計意図を存分に発揮した建築であることがわかる。ちなみに彼は十五年後、成田山新勝寺の開山堂を、この御霊殿とほぼ同じ構成で建設している。

妖怪と言え、悟真寺には河童の伝説もある。伊東忠太も現場を監督しながら、何かの気配を感じたかもしれない。

【もりやま・まなぶ／高専教員、一級建築士、八代市】



写真⑥ 折上格天井。内外陣に境はない



写真⑦ 十六菊紋の墓股

おっとわっとあすび

その④

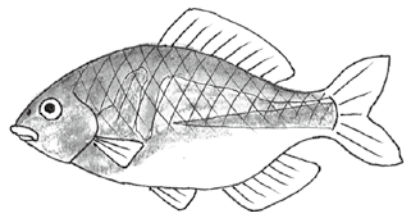
絵と文／松舟博満

シビンチャ

ジッケンブチきんぺんにし
きや、おらじやったで、潜つて見
けたつちや、あんまりいきれか
たで、鉄砲イザリじや、突きや
きらじやった。

いまんごてえ、ナイロンの袋の
あつじやない、捕まえたつちや、
入るんももなかつたで、カンツ
メン空んフタンちいとつとばも
て、イヲ突きや行きおつた。

捕まゆれば、カンツメン中きや
入れて、はつてかんごてえフタ
ばして、イヲば突きながら、上
がって、コブチン逃がしおつ
たばつてん、学校図書館のイ
ヲの図鑑を見たつちや、シビン



てにやのつとらしん、タナゴのつ
とつたで、ようで見つと、カ
ラスガイん中かしきやタマゴは、生
まんで、書やあつたで、どしこ
つて捕つてきて、にぎやたつちや
コヒナしきやおらん、コブチン入
れてん、ふゆつこたあ無か
とじやつた。

ともうて、砂んあつとこらあそ
らくじゅう、せせつて見つば
つてん、カラスガイの殻いつちよ
なかつたで、東ん方からジッケン
ブチん流れこる、小みんか川
のあつたで、そけえいたて見
れば、シビンチャの泳ええで
さるきおつたで、カラスガイ
も見つけて、つかまえて、コ
ブチン持っていたあて逃がした
とばつてん、雨ん降つて水ん出
たあとん、どぎやしこもぐつて
見たつちや、カラスガイもシ
ビンチャもおらじやつたで、そ
つから捕まゆつとは、きややめ
て、そつからそん川にや行つち
やおらん、今でんおつとじや
ろうかしらん。

【まつふね・ひろみつ／青井阿蘇
神社・文化苑「童遊館」】

今月の詩 ⑮

人吉球磨児童生徒文詩集「やまざり」から

第34号（2006年3月発行） 選・作文の会

真剣に

unnecessary 必要なのは買わない

ドイツ 六十五パーセント

日本 十九パーセント

衣類をゴミとして捨てる

ドイツ 二パーセント

日本 三十九パーセント

使わないものはリサイクルにまわす

ドイツ 八十八パーセント

日本 三十九パーセント

同じ経済大国なのに

この違いは何だろう

世界で最も多くゴミを発生させ

燃やしている国

世界で最も多く食糧を輸入し

無駄に捨てている国

日本

環境問題に無知でいると

環境問題に無関心でいると

環境問題に無責任でいると

間違いなく 加害者になり

間違いなく 被害者になる

わたしにできること

節電・節水・リサイクル：

一人の力は微々たるもの

でも だれかが始めないと

だれかが取り組まない

今 一人ひとりが真剣に考えなければならぬ
時が来ている

【評】ドイツと日本の考え方の相違にスポットを
あて独特のきりこみをしている。三年生らしく
視野を広げ、環境問題をテーマとしていること
は評価に値する。

岡原中三年 城本伊織



文部科学省が2014年に公開した「児童生徒の問題行動等生徒指導の諸問題に関する調査」で、小学生による暴力行為が7年前に

比べて約3倍に増えた事が明らかになりました。
いわゆる、キレやすい子供の増加。私は食育を始めたころから、この件に一番関心を持っていて、この問題を解決するのは「食」しかないと思います。

人間の味覚は、3歳で基礎ができ、10歳で固定されます。

3歳〜10歳までに食べた物が、その人の味覚や味に対する依存の原因を作っているのです。

しかしながら、現代食というものは、添加物や有害物質にまみれています。

カロリーは高いけど栄養素はほとんどありません。言わばエンプティカロリーな食品が蔓延(でまわ)っ

ています。そのエンプティカロリー食品の王様が「白砂糖」です。

消化吸収の早いエンプティカロリー(白砂糖など)を過剰に摂取すると、血糖値が急激に上昇します。

上がりすぎた血糖値をコントロールするために、体内ではインスリンが大量分泌され、今度は血糖値が一

気に下がります。血糖値の低下により、ブドウ糖をエネルギー源にしている脳に影響が起きます。脳のエネルギー不足で慢性頭痛をはじめ、「ボーっとする」「集中できない」という症状が現れます。この低血糖

を改善するために、今度は脳から気分の高まりや攻撃性を司るアドレナリンが分泌されます。

こうやって、血糖値の急激な上がり下がりに影響を受け、情緒が不

安定な「キレやすい子ども」が出来上がります。

人工甘味料・加工でんぷん・膨張剤・カラメル色素・タール系色素・イーストフード・乳化剤。食べてほ

しくない添加物を挙げるとキリがありません。その中でも白砂糖を摂らないようにしていくことが何より近道です。

私は白砂糖を徹底して抜いたことがあります。その時は市販の甘いものは何ひとつ買いませんでした。

白砂糖にいかにか依存していたのか身をもつて知りました。

最近の子供は「キレやすい。落ち着きがない。アレルギー体質だ」とよく言われていますね。

でも「子供だけ」が悪いのでしょうか。

子供はその日の食事を自分で選ぶ事はできません。

親や大人が、与えて初めて食事をする事ができるのです。大人の



【うらかわ・はるか／人吉市「さんばカフェオーナー」】

選食力にかかっています。おやつはお菓子。という概念を捨てる時代はすぐそこまで来ています。

これに気付くかどうかで幸せな家庭は保たれるのではないのでしょうか。

幸せな家族が増える。という事はとても素晴らしいことです。

八代市坂本町

百済来の地名考

鶴崎信二

日本全国に中国、朝鮮半島から渡ってきたという場所は無数にあり、百済来もその中の二つの場所である。

私達の住む国と大陸は弥生時代（BC10～AD3）以前から人の往来があった。考証を進めると戦禍の中の混乱の結果、我が国に避難してきたというのが事実のようだ。3～6世紀に入ると活発化し、538（一説には552年）年の仏教伝来を機に日本は大きく変わっていくことになる。

●「渡来人」の定義について考えてみよう。広義には、海外から日本に渡つ

て来た人々を意味する。

歴史用語としては、4世紀から7世紀頃に、中国大陸及び朝鮮半島から日本に移住した人々を指すことが多い。渡来は集中して起こった訳ではなく、幾つかの移入の波があったと考えられている。

また、ルーツに関しても、黄河流域・山東半島、揚子江流域、満洲・朝鮮半島など様々である。

揚子江流域などから伝わった稲作（水稻）に始まり、漢字・仏教や寺院建築技術などを日本に持ち込み、

古代日本における文化・政権形成に大きな役割を果たしたと考えられている。

朝鮮半島の動乱の影響は倭国（我々）にも及び避難民の増加として現れた。当時の倭王権力は大陸の最新文化・技術に依存していた避難民が渡ってくるのを拒む理由はなかったようだ。むしろ貴重な存在の人達で政権内で優遇され、歴史に名を残している人も多い。

ヤマト王権に仕えた渡来人としては、秦氏・東漢氏・西文氏（かわちのふみうじ）が代表的であり、他に渡来人系の人物として鞍部村主司馬達等（止）（大唐漢人、継体朝・敏達朝）、鞍部多須奈（用明朝）、鞍作止利仏師（推古朝）、高向玄理（高向氏）、南淵請安（南淵漢人）、旻（日

文、新漢人）、鑑真などがある。朝鮮半島ではなく中国大陸にルーツを持つ人物が多い。

弥生時代の渡来を除けば、半島からの渡来の第一波は5世紀前半に発生したとされている。原因は高句麗

軍の南進である。西暦400年、高句麗は新羅を救援するため5万の兵を南下させた。高句麗軍は逃げる倭兵を追って任那加羅（金官国）まで追撃したという。戦場と化した半島南部から、当然のことながら大勢の

人々が戦乱を逃れて日本列島へやってきた。古い渡来人グループの東漢（やまとのあや）氏や秦（はた）氏などは、この時期に移住してきたと考えられている。

現在の日本国民の中に百済の末裔の方がたくさんおられるのは事実で、古代では国境と言う概念はないので半島の先端から対馬島を飛び石にして、多くの人が来倭してきたと思われる。

三つの大きな波

- ① 高句麗好太王の碑文にある、396年の高句麗による百済南部の熊津城を討伐した時、地域単位で百済遺民が列島に移動
- ② 高句麗により、百済北部の首都漢城が陥落し王族や遺民が熊津に南



百済来地藏堂（八代市坂本町）



今月の秀句

Selected Haiku of this Month

永田満徳選評・向瀬美音訳

<https://www.facebook.com/groups/1805562046390300/>

このコーナーは、「二行書きによる〈切れ〉と〈取り合わせ〉を取り入れた Haiku」を提案している『俳句大学』facebook ページからの転載です。

Corail Berhaute Creuzet

●
bain de soleil
sur la plaine moussent les nuage

【Commented by Mitsunori Nagata】

Cette personne prend un bain de soleil et voit les nuages monter. On ressent l'atmosphère riche de l'été.

コラリ

●
日光浴
雲の泡立つ平野の上

【永田満徳評】

日光浴を楽しんでいる目線の先には盛り上がり育ちつつある雲がある。「泡立つ」という措辞に豊かな夏のひと時が活写されている。

Nazarena Rampini

●
soffio di vento
da un ramo all'altro l'echo del cuculo

【Commented by Mitsunori NAGATA】

Suddenly wind blew. The song of the cuckoo echoes in the mountain. We feel the nice silence of the deep forest.

ナザレーナ

●
一陣の風
枝から枝へ郭公の聲

【永田満徳評】

折からの風が吹いてきて、木の枝を飛び回っている郭公の^{カウコウ}声^{こだま}が^{こだま}響いている。いかにも奥深い森林の静けさが感じられて心地良い。

Gerard Dumon

●
sieste à la plage
vent tourne les pages du dernier roman

【Commented by Mitsunori NAGATA】

Au milieu de sa sieste, la page du roman est ouverte. Ce n'est pas une personne mais le vent qui va finir de lire le roman. C'est une expression extraordinaire.

ジェラルデュモン

●
海岸の昼寝
風は小説の最後のページをめくる

【永田満徳評】

昼寝によって小説が読み掛けのままになっている。小説をめくり終わらせるのが風だという擬人的表現はなんとも心憎い。

【ながた・みつのり／俳人協会会員、熊本市】

遷してきた時も、列島に多数移動
③663年に白村江の戦いに敗れた
時、王族や遺民が大量に列島に移
動

昔から、政治的には百済と倭は兄弟国のような関係で、王族や官僚の移動があり、列島に定着した人たちも大勢いることを考えると「日本国民の中に百済の末裔の方は存在する」ということが言える。

●村名の由来は『大日本地名辞書』

(1907年刊)に「今百済来村と云ふ、久多良木に作る、(中略)土俗相伝へ、百済僧日羅(にちら)の帰葬する所と曰へり。按に本郡に百済来、新羅来の二村名あるは偶然にあらず、葦北国造阿利斯登(ありしと)の子日羅、百済国に赴き、達率の位(たつそち＝官位十六階中二位)を

得、(中略)又推古帝の朝に百済の僧

道欣、道俗八十余人を率て葦北に入津したり、(中略)百済・新羅の下に來字を付着せしむるは、古語百済人をクタラキ、新羅人をシラキと唱えしに由る。『坂本村史』

久多良木は百済来の、芦北町の「白木」地区は新羅の音を当てた文字と考えられる(WEBこだま96号より)。

百済来村

県内では1889(明治22)年の町村制施行により、小川内、久多良木、田上、鶴喰、川嶽の五ヶ村が合併して葦北郡百済来村となり、1961年の町村合併まで続いた。この年、百済来村は葦北郡を離れ、八代郡の上松求麻村と下松求麻村と一緒に八代郡坂本村となった。

2005年、八代市の町村合併により、小川内、久多良木という大字は百済来上と百済来下に変更された。

「百済」の地名については敏達天皇の代に葦北国造阿利斯登の子で百済王に仕えたという「日羅公」の故事にちなみ称したという伝承がある。

百済来中学校が坂本中学校に統廃合される如く、地域から「百済」という地名が消えていくことを惜しみ、平成の合併を機に地域の総意として「百済来」を復活させた。

百済来は九州の古代史に関心を持つものにとつては避けて通ることのできない所であり、渡来系氏族の定着地を居ながらにして実感できる非常に重要な場所なのである。

【くるさき・しんじ／八代市】

支えて 支えられて 有難う

— みちのく南相馬紀行 — ④

人吉アマチュア無線クラブ会長 那須 智治

○相馬市に入る

相馬港に立ち寄る。港の堤防から釣りを楽しんでいる家族が多い。サバ

子が釣れていた。九州ではアジ子が釣れる季節だ。寒い東北では魚種も変わるのだな。ビデオを回していたら、小学生くらいのふつくらとした女の子が近寄って来た。「おじさんは



相馬港で釣りをしてた女の子

どこのテレビ局の人」と気さくに語りかけてきたので「熊本県から来たよ」と言ったらワゴン車の中からお母さんが出てきて「熊本地震が大変だったでしょう」とお見舞いの言葉を頂いた。漁港から相馬市の繁華街に出るカーブのところに海側の窓をベニヤ板で打ち付けた2階建ての建物があった。横浜税関相馬出張所だそうだった。火力発電の燃料を外国から運んでくるために税関職員2名が常駐している。後述するが、姪の主人の職場だった。

○相馬市に移動

相馬市のアマチュア無線家 斉藤誠さん (JA7DYN) と電話で連絡を取りながらお会いすることができた。まず宇田川の近くの家の裏庭に案内された。HF (短波帯) の周波数アンテナ数本が高く聳えている。

自家製のアンテナがほとんどだ。世界六大国と交信したくさんのアワード、交信賞を取得されていた。無線機のある居間にはHFの機器とFMの機器が所狭しと設置してある。さらに斉藤さんは写真の趣味をお持ちで、写真展入選の



JA7DYNの空中線(アンテナ群)

写真展入選の

多くのトロフィーが戸棚に収めてあった。井川さん斉藤さんと私三人でしばらく無線談義。お二人は一度無線でコンタクト(通信)したことがあるが会われるのは初めてだった。これからは人吉アマチュア無線クラブ

ブ会員とのコンタクトスケジュールを作成すること、昨日お会いした野田祥三さん(JA7UBZ)から提案をいただいた「相馬野馬追アワード」に向かって人吉の会員と一



球磨工業生が作った仮社と鳥居



建設中の山田神社

○山田神社の事も忘れてはいけない

緒にコンタクトをしていきたいと希望がわいてきた。午後5時、斉藤家を辞して鹿島区の民宿まで井川さんに送ってもらう。国道6号線は職場から自宅に向かう車で混雑していた。25分の南相馬市ヘドライブ、お空の上の無線で再会することを誓ってお別れする。色々お世話になりました。

八沢浦干拓(明治39年〜昭和3年、八沢浦干拓され広大な農地造成)の工事を行った山田貞策氏(岐阜県養老町の実業家)の大事業に対する感謝と報恩の念をもって、又その偉業を後世に伝えるために昭和16年、山田



左から斉藤さん、筆者、井川さん

神社（八沢浦干拓地総鎮守）が創建された。

私は井川さんの案内で別行動をしたので見てないので残念だった。宮川さんによれば、この神社は大津波で流失、天草志岐八幡宮の宮崎国忠宮司の依頼を聞いた田中前市長の取り計らいで、熊本県立球磨工業高等学校の伝統建築専攻科の生徒たちが造った社を、仮社殿として2基の鳥居とともに青井阿蘇神社の御世話で寄贈したところである。

地域の人の心の支えになったことは言うまでもない。現在は写真のように大きな神社が建設されている。その建築中の神殿に球磨工業生が造った仮神社が収められていて、仮社を心の支えに大切にしていたらいているのかと感動一人であつたと宮川氏が語つ

ていた。

○最後の晩餐

鹿島の加藤家に帰ると五賀さんと鈴木さんの奥さんに準備していただいた最後の晩餐が始まっていた。地元の手料理が一杯並んでいた。昨日は一日中固まっていた私もリラックスしてアルコールの力で会話が弾んだ。人吉では見られないインゲン豆をびっしやいだような野菜を尋ねると「まさ子豆だべ」と自分の名前を付けてサラリと答えた鈴木正子さん、皆笑った。豆を播いたら山芋を添えとけばと田中氏のジョークに宴会は盛り上がった。



最後の夜

その席で鈴木文雄さんから歯の治療の相談を受けた。

翌日朝「まさ子豆」の種を頂いた。豆の表面にシマの模様がある。帰宅後種を播いたら、今では50cmほどに芽が出て伸びている。10月の収穫が楽しみだ。生キュウリに箸を刺したものはビールによくあつた。カツオの刺身もうまかつた。

私が知らない初めて会う人が今夜も田中前市長が来ている事を知り訪ねてきた。南相馬市では今でも田中

信孝氏は人吉市長であつた。「何で落ちたべ」と見舞う鹿島の人々に「不覚をとつた」とサラリと田中氏は答えていた。田中前市長を慕っている鹿島の人が多いのに驚いた。「田中市長はいつまでも田中市長であり今でも鹿島の人の中で生きている」ことを知り私はその絆に心が打たれた。田中氏の市長在任中は人吉市の活性化を指揮する市長の顔であつたが、ここでは人吉で見るできない慈悲に満ちて柔和な顔をしていた。

○別れ

最終日（7月17日）、朝食をとっていると田中前市長が来ていることを

知つた元藤田観光社員、東京銀座にある大分ブランドクリエイト株式会

社社長但野智尚氏が訪ねてこられ出発前の短い時間に東北のアクセントと東京弁を交えて久しぶりに田中氏に会った感激と、田中氏の指導で今の自分が在り「師」として今も仰いでいると熱く語っていた。初対面の私まで帰りしなに御挨拶をいただいた。名刺を渡したら後日手紙と本人の名刺が送ってきた。鹿島に別れを告げる。多くの方にお見送りをしていただいた。

「セデッテかしま」（常磐自動車道南相馬鹿島SA）でお土産を買う。中身は分からないが全て衝動買いである。軽くなった荷物が又少々重くなった。土産を買うことも復興支援である。

○姪の家族に会う

仙台空港で家内の姪のエリコの家族に会う。メンバーと共に昼食をとる。

ご主人は横浜税関の職員で仙台空港に勤務していた平成22年の6年前の出会いを思い出し懐かしかった。二人は同級生、仕事の関係で仙台市の仙台空港の近く、名取川の堤防の直ぐ傍に住宅を新築した。その年の11月、私が群馬県前橋で文科省大臣表彰を受けた時に、ここまで来たのだから家内と東北の知人をレンタカーで訪ね周り、仙台の二人の新築祝いに立ち寄った。ソーラーシステムと床暖房を整えた間取りの良い家屋だ。

平成23年3月11日の東日本大震災の時、仙台空港は津波に襲われ、滑走路を軽飛行機や無数の自動車が見

から西へ流れて行くのをテレビで見た。その時は仙台空港のほぼ真北にある二人の新居は流失したと思ひ安否が気がかりだった。

当時ご主人の北野君は仙台空港の税関に勤務し、4日という長い時間を旅行者と共に空港ビルの2階に避難し寒さに耐えて助かった。4日後家族とも無事であると連絡が着いた。停電が続き食料もなく寒いと言っていたのを思い出す。忘れていたが身内にも災害体験家族がいた。二人の娘も大きく育つて元氣そうだった。

○人吉へ

7月17日午後7時、人吉インターの停留所に着き、帰宅する。

白紙で参加し、帰宅して1週間後、旅の行程を思い出しながら又資

料をインターネットで探し、南相馬市の人々、同行者に電話を入れて情報と資料を取り寄せ、この紀行文を綴ることができた。歓迎していただき、

お世話になった南相馬市、相馬市の方々と同行した方々に厚くお礼を申し上げたい。勉強不足で僅かの時間に知りえた情報・記録でこの章を書き上げた。不適切な表現・記載があればお許しを願いたい。

日本中活断層だらけである。今はどこで大地震が発生してもおかしくない。人吉にも人吉盆地南縁断層があり、南海トラフが動くと同時に30年以内に動くとも言われている。心して個人個人が対策を考え活動に移す時である。

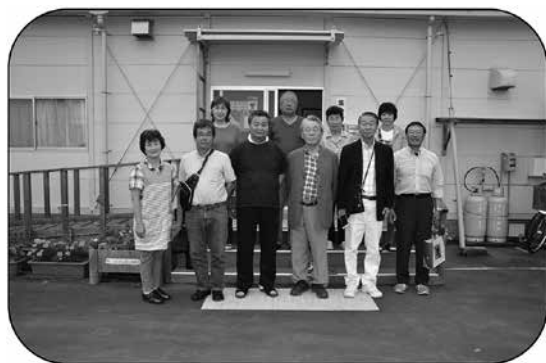
3日間の訪問で高齢者の私の人生で体験できなかったことを知ることが

できた。

人々の触れ合い、優しさ、思いやりに「支えて 支えられて ありがとう」と、お会いした人々に感謝している。

(平成28年8月記す)

【なす・ちはる／人吉市】



【追想】千倉の仮設住宅自治会の皆さんと(平成28年7月)

今年は、どうもおかしい。梅・桜・菜の花・海棠・菖蒲などの開花がすべて2週間近く遅れた。筍・蕨・茶もそうであつた。鮎も少ない。梅雨入りも遅れた。蛇も少ない。ムカデも一度みただけ。僕らには感じないけど、自然の世界はどうやら今までとはちがうようだ。人は自然の一部だから、変化を知らなくとも、状況のちがいを身体に受

けている。いったい、どうなるっているのだらう。

ムカデくんには遭遇しないのは嫌ではない、

むしろ、うれしい。いつもなら、ムカデくんは当然にあらわれ、いつのまにか僕の身体のうちで遊んでいて、僕をびつくりさせ、ときどき刺すので、きみには、本当は、会いたくない。きみの針はあまりにも強くて、刺されたときの痛さは説明できないほどだ。僕はおもひのほかガマン強いけど、それでも、夜中に病院で

ムカデ君、どうしたの？

久馬 俊

害したら謝るけど、本心をいうと、そううなんだ。ごめんね、蛇くん。

今年は、旧暦5月が2回あつた。閏月だ。そのことも今年の状況に関係しているかもしれない。僕たちは、日頃、陽暦で生活しているけど、陰暦の影響も受けている。いつもより開花が遅いときでも、陰暦で考えるとそうでもないときが

ある。統計を調べていないので結論的なことはいえないけど、今年は、もしかしたら、そういう事情のもとにあるかもしれない。

長い目でみると、地球の温暖化が気になる。今年の不順に温暖化が関係しているかは分からない。表面的にみれば、今年は温暖化ではなく寒冷的にみえる。けれども気候は地球規模で決定されるので不順自体が問題になる。温暖化は個人の力では阻止できない。熊本県全体でがんばっても到底無理だ。日本全体でとりくんでも同じである。それは地球規模の課題である、しかし、そう考えていない指導者もいる。

パリ協定からの離脱を表明したアメリカのトランプ大統領がたとえばそうだ。自国を愛するのはいい。しかし、愛しすぎて知らないうちに自分の首を絞めているかもしれない。僕は、いま、そのことについてムカデちゃんと議論したいと思う。

【きゅうま・すぐる／八代市】

湯前まんが美術館 (那須良輔記念館) 設立の頃 ①

溝下昌美



山北幸さん（中央?）と那須良輔氏（右）

なにか将来の文化行政の参考になればと考えたのである。これは私の感じ方、私の意見であり、異論も

多いことと思われるのだが…。
本稿では、主に平成四年十一月の開館までを書いてみたい。

まず、那須先生の『漫画家生活五十年』昭和六十年（平凡社）を頼りに、那須先生について書いておくことにしたい。

那須先生は大正二年四月、当時の湯前村染田地区に生まれた。小さなころから絵がうまく、絵描きになることを夢見て、上京後、太平洋美術学校に入学したが、雑誌に漫画を投稿するうち、昭和八年『日本少年』でデビュー、戦前から漫画家として、ジャーナリズムの世界で活躍されていた。しかし、なんといっても、

おきたいと思っていた。
球磨でも奥地、小さな町での、いわば、これは行政の仕事であるが、今、覚えているところだけでも書き残したいとも考えていた。



私は当時、町教委・社会教育の（中央公民館）職員として、この業務に参画することになった。あの当時のことを以前から、少し、まとめて



まんが美術館（球磨郡湯前町）

時代が時代である。昭和十二年から三回の兵役を経験、雑誌社の取材で中国前線にいたとき、何と、招集令状が来たこともあったという。

昭和十三年、百六師団での武漢攻略戦では九死に一生を得られたという。

また、大本営陸軍部に所属され、戦争宣撫の伝単やポスターなどの制作に従事したりしたこともあったであろう。

当時、多くの画家がそうであったように、戦争礼賛の絵も描かれている（現在は国立近代美術館蔵『漫画家生活五十年』より）。その後、横山隆一先生らと「漫画集団」を結成、仕事を続けておられた。しかし、米軍の空襲が激しくなる中、

帰郷。終戦はご家族と一緒に、湯前の実家で迎えた。

今も実家に残る那須先生が描かれた母ヨシの像には、「昭和二十年、大東亜戦争決戦の年」と記載があり、当時の緊迫感を感じることができようか。

また、終戦時のことについては、那須先生の著書『すべり台』に記載があり、『湯前町史』に引用されている。

昭和二十三年、再上京、毎日新聞社や東洋経済社嘱託として、風刺漫画家、水墨画家、エッセイスト、絵本作家などとして活躍されるようになった。横山隆二先生と同じく鎌倉に在住、小林秀雄など、鎌倉文人ともひろく交友されている方であった。

平成元年二月の逝去後、時の豊永順喜町長は平成元年六月議会で那須先生の美術館構想を発表された。時に村おこし、ふるさと創生が声高にいわれた時代であった。

しかし当然、時代的なものもあり、町としても以前から那須先生にいろいろと知恵を拝借したいとは考えており、昭和六十一年、町の村おこしシンポジウムで特別講演されている。また、昭和六十二年には熊本県立図書館にて、「漫画家生活五十年」の展覧会が開催され、講演されている。当時、地元紙熊日にも連載を持つなど、故郷とも縁が戻りつつある頃でもあった。

私は教育委員会（中央公民館）の社会教育の職員のはずであった

が、当時の平川教育長や役場の企画サイドの方と仕事をしたりするようになった。

那須先生は、湯前の偉大な先輩ということ、まあ、調べるのは好きなので、那須先生は新聞漫画だけでなく、週刊誌や創作絵本の仕事もしておられて、これはすごいと思つたことであつた。

那須先生は鎌倉在住であり、歴史好きのわたしが、夢中になるに充分であつた。これはしかし、当然鎌倉にある頼朝の墓にも詣でねばなるまい。すると、人吉の初代の殿様相良頼景は頼朝に仕えていた？
えー

【みぞしたまさみ／地域史研究家、球磨郡湯前町】

郷土を巻き込んだ悲惨な戦い

「西南戦争」百四十年 ③

益田啓三

六月二日 官軍の一斉攻撃始まる

新宮簡は陸軍中主理として人吉に入る。攻撃に先立ち四男の破魔男を長男の嘉善のもとへ密使として送り「人吉はわが郷里、人吉を焼くには忍びない。宜しく降伏すべし」と諭した。しかし、新宮嘉善答えて曰く「同士と共に戦つて今日に至る、一存で決しがたく親孝行は先の世で致す」と答えたという。

ここにおいて、新宮簡は村山からの第一弾を土手馬場のわが屋敷に向けて放つた。弾丸は見命中して燃え上がったという。何とも言いようのない新宮父子最大の悲劇である。

《戦闘記 屯田兵出征目録》

「六月一日 午前六時 諸口の官軍一斉人吉を攻撃し、午前九時人吉を取る 賊大橋並びに車道田町等を放火して走る」

また《肥薩縦行日記》には

「六月一日午前四時、山路中佐は右偏正面に進み屯田兵は八木少佐の隊と合流し左偏より攻撃、賊敗走す。賊壘数多くを抜き、九時人吉市街に迫る。屯田兵は側面より激射するに由て賊ついに市街に火を放ちて遁走し、城址或いは河堤に抛り発射すれども川橋焼却したれば官軍川を渡るに便ならず、水を隔てて砲戦す。頃あつてロケット砲を以て前岸の人家を焼く。賊もまた火を放ちて遁去す。」

是において人吉は全く官軍の有となれり。屯田兵は聖泉院を本部とす…」

瓦屋町の聖泉院を本部とした屯田兵たちは球磨川を挟んで戦い、ロケット砲（ドイツ製クルップ砲）等の近代装備を有していたようである。薩軍は退却の時、大橋や人家に火をつけて逃げたので多くの家財と共に歴史的資料もこの時に失われたのであろうことが残念である。

このような中、一般市民も戦に近いのを感じて家財道具を運び出したようだが騒然とした中、人々はどこへ避難したのであろうか。また働けそうな町人は弾薬の製造運搬などの人夫として強制的に徴用されている。住民訓練の朔日であった。



新宮嘉善

丸目徹が薩軍に加わった六月一日、人吉隊は会議を行い今後のことを計るが、犬童治成は自刃することを望み、

また人吉二番隊の中には降伏を主張する者もあり決することは無かった。夜ひそかに逃れ降伏する者の名前数名を記している。

六月二日

「晴…東軍新宮簡、使を遣わし降るを勧め、懇々諭すに順逆の理を以てす是において衆議し云う、弾薬乏しく力尽きんとす、且降伏し再挙を謀るに如かずと一決し帰順に定む…」

このように丸目徹らは新宮簡の説得を受け入れ官軍に降伏したのち、相良村柳瀬から人吉の瓦屋町の民家に拘留されている。多くの兵は人吉を出発してから約九十日、この間山野を駆け巡る苦労の疲れから終日眠ったが、丸目徹の父は尚降伏せず薩軍と行動を共にしており、その苦労を想って「眠る能はず」と記している。

また新宮簡の書簡にも「未だ降伏致さず候者三千人ばかりにて、筑地忠利、丸目常平、赤坂静衛、高橋水哉なり、何の訳やら分からず」と記している。降伏を善しとしなかった

のは「相良武士」の最後の意地と責任の取り方だったろうか。

新宮簡と新宮嘉善、父子の苦労が察せられる人吉戦であった。

《新宮簡より東京の田代蔵に宛てた手紙》

「…人吉表賊軍に加担の者沢山、去る一日官軍討ち入りの処何れも敗北、一人も敵候者無し、薩人、肥人、人吉人蜘蛛の子の散るかの如し…それより村山に登り寺ノ馬場に屯し居候賊を四斤半の大砲にて実丸二発誤まらず整列の中に打ち込み悲心中御察し下されたし、而して賊は本城より大砲を放つも村山へ着弾一発も無し、拙者宅へ破裂二発打ち込み候処快く焼け上がる」

新宮簡が六月下旬に書いた手紙からは、人吉では一日の戦でほぼ決着がついた様子が窺える。「寺ノ馬場に屯し賊」は、おそらく現在の人吉税務署（寺町）にあった「御内家」（旧郡役所）ではないかと想像する。また「拙者宅」とは人吉市土手町にある武家蔵（堤氏宅）のことで、当時は新宮家の屋敷であった。現在は資料館として一般開放さ

れている。

この戦いで自宅に大砲を打ち込まなくてはならなかった新宮簡の苦衷と、また見事に誤らず命中した当時の砲術の正確さがわかる手紙である。

薩軍は人吉城から村山の官軍に向けて大砲を放ったが一発も着弾しなかったと記している。明らかに装備の違いがこの戦の勝敗を決めたと推察できる。

「心中御察し下されたし…」この頃の新宮簡の心の内は、悲しみ・絶望・不安・悔悟…おそらく勝ち戦の喜びなど微塵も無かったに違いない。

六月四日

新宮簡の勧誘に従い人吉隊はことごとく兵器を捨て球磨郡木上村に在る官軍選抜隊の本営に帰順する。

《人吉隊降伏について西南戦役秘帳は》

「当時田代に退いた薩軍中にある人吉隊は、城落ち故山焼土と化ししみじみ連敗の憂目を見、薩兵また冷淡に遇しそれとなく疑心をもつて警戒するとみて同隊中内心不満

の輩は帰順を乞い願ひ、それに別働第二旅団参謀附教導たる人吉出身新宮簡、密かに人を遣わし順逆の理を解き懇諭するところがあつたので、人吉隊は帰順論、主戦論とに分かれ大勢は帰順に傾いたが、人吉一番隊長犬童治成の如きは薩軍に参加以来の節義を論じ、最後まで戦の継続を力説して服せず、隊はまさに瓦解せんとする状態であつた」

「翌日再び急使營に来て、もし今日返答無ければ官軍明日を期して猛襲を決行すべしと帰順の急を説き、密かに、我が人吉の陣にありて同輩たる吾が軍門に降るは面目上忍びざるが故、明日木上十日市に出張中の山田少将の許へ帰順せよ」と告げたので瀧川俊三・東九郎次・丸目徹らは人吉隊の為にと犬童治成を慰撫し、こぞつて帰順を約しその夜、薩軍の眼を掠めて黒辺田野を経て小瀬川を渡り薩軍の塁下を抜けて木上村に行き帰順した」しかし、絶対に帰順不賛成の者、その他帰順を知らぬ者など薩軍と行動を共にし宮崎方面へ去つた者もあつた。

また、新宮簡は「女密使」を使って人吉隊へ降伏の説得を行った話も残っており、さまざま手を尽くし同胞を救うとした簡の姿が窺える。あまり知られていない西南戦争秘話である。

西郷隆盛は約一ヶ月間人吉に滞在し、戦が始まる直前に幹部と共にやはり宮崎方面へ逃れている。その西郷隆盛の人吉滞在中の事は口伝のみ少し伝えられているだけで、文書などの記録は見出せない。薩軍は西郷の暗殺を恐れ住居を秘密にし転々としていたとも聞く。薩軍の「王将」なればそうであつたかもしれない。

ここにおいて、人吉での戦いは終結する。ただ人吉隊にはこの後厳しい戦後処理が待ち構えていることになる。

(つづく)

《参考資料》

新宮家文書 人吉市史 屯田兵出征目録 人吉隊始末記

【まずだ・けいぞう／人吉市九日町】

ツクシイバラとの素敵な御縁で

ひとよし応援隊 岡部 保男

人生を60年も生きて来ると色々な素敵な出逢いがあるものです。

今から5年ほど前、当時経済産業省から出向されて人吉市役所の副市長を務められていた高橋隆さんとの出逢いがあり、スナックのカウンターで席を並べては球磨焼酎を飲み交わしながら、地域活性化について、幾度となく夜遅くまで熱く語り合ったものでした。

その後、平成24年6月16日に高橋さんを隊長として他のメンバー21名と共に、走る事を通して地域との交流を図ったり、人吉・球磨のPR

などを努める地域活性化のボランティア団体「ひとよし応援隊」を結成する事となりました。

隊長が栃木県真岡市出身で私が芦北町出身。人吉・球磨出身でない二人が人吉・球磨の魅力にひかれて「ひとよし応援隊」を立ち上げたことは非常におもしろい話となりました。

高橋隊長の提案で平成25年5月25日に球磨川河川敷のサイクリングロードを活用して「第1回ツクシイバラ・ランニング大会」を開催。

球磨川に自生するツクシイバラの

花を楽しみながら走ってもらい、健康増進やツクシイバラの周知・保護などを目的に、他のランニング愛好会の団体「走RUNかい・JAPAN（谷口総志代表）」と共催で実施しました。



第1回ツクシイバラ・ランニング大会

県の絶滅危傾種に指定されているツクシイバラの存在さえも知らなかった私には、ツクシイバラとの素敵な出逢いから、色々な方々との出逢いが展開されて行きました。



第4回ツクシイバラ・ランニング大会

「球磨川ツクシイバラの会（桑原史佳代表）」との出逢いも素敵な出逢いの一つです。ツクシイバラ公式発見100周年の記念行事の企画会議を結成10年目のツクシイバラの会の皆さんと重ねること、ツクシイバラ保護活動の苦労とツクシイバラの会の皆さんの団結力を知ることになりました。

広いツクシイバラの自生地での保護活動の一つである除草作業は、地味な作業ではあるが他の団体との連携を図り、爽やかな汗を流し、感動の連続です。

除草作業には、国土交通省八代河川国道事務所人吉出張所の所長や錦町役場職員の皆さんも参加して頂き、多い時には100人程の団体連携となり、素敵な展開をみせています。

昨年は熊本地震の影響で残念ながらランニング大会は開催出来ませんでした。今年5月27日に公式発見100周年記念行事として「第4回ツクシイバラ・ランニング大会」を開催することが出来ました。順位も付けないし、タイムも計測しないで5kmのランニングコースをツクシイバラを愛でながら走ってもらうアットホームな手づくりの大会にスタッフ18名、一般参加者32名の合計50名の皆さんが参加されました。

大会には家族で参加された方や初めてツクシイバラを見る方もいて、ツクシイバラを楽しみながらランニングされ、爽やかな汗を流されました。

ツクシイバラ公式発見100周年に因んで参加者が100名集まることを密かに望んでいましたが、企画

する事と継続する事の難しさを感じるランニング大会にもなりました。

ランニング大会終了後は「リバーサイドミュージシャン」としてツクシイバラの中の特設ステージで、ウク



サプライズ結婚式

レレとギター演奏によるひとよし応援バンドがデビューし、演奏者と観客が一つになり大いに盛り上がりしました。

一昨年はランニング大会終了後に、ツクシイバラの中でのサプライズ結婚



リバーサイドミュージシャン

式を企画しました。新郎・新婦に内緒で用意してきたウェディングドレスとスーツに着替えて頂き、ツクシイバラの中で会場の皆さんと共に祝いをしました。突然の企画に新郎・新婦は嬉しさと驚きの様子でした。ツクシイバラには色々な演出が似合い、ドラマがあり感動があります。ツクシイバラの存在を多くの方々を知ってもらい、次世代にツクシイバラの魅力を伝えたい。地道な活動であるが、来年も素敵な仲間と共にツクシイバラ・ランニング大会を継続して開催することでしょう。

ツクシイバラの花言葉は「かわらない愛情」…。

【おかべ・やすお／芦北町】

倉敷便り

⑥

原田 正史

初代「柳瀬橋」物語

人吉から人吉海軍航空隊に向かう時に渡る相良村の初代「柳瀬橋」について記述することにします。なお、現在の柳瀬橋は戦後になってから橋幅を広げた、より頑丈な構造のもと、初代柳瀬橋と同じ場所に架橋されました。

私が初代柳瀬橋を初めて目にしたのは中学五年生の時だったと思います。人吉中学校では体育の時間にグライダーの訓練が取り入れられ、練習機が一台導入されました。校庭は

一町歩ほどの広さでしたが、そのくらいのは広さでは本格的な滑空訓練は出来ないのです。そこで千敷原ちしきはらの東部にある広い畑地を借りて訓練場としたのです。学校から訓練場までは片道六kmの道のりがあり七、八人でグライダーを担ぎながら、順次交代しながら駆け足で往復したものです。その時、私は初めて初代柳瀬橋を渡ったのです。

初代柳瀬橋に対する私の第一印象は、かなり長い橋なのに橋の幅が狭いため、やたらと細長く感じました。大勢で渡つても大丈夫なのだろうかと不安を感じました。この様な

思いは私だけではなかったと思いますが、実際は大勢で渡つてもビクともしませんでした。

よく観察すると通常の橋とは異なり、細いながらも短い間隔で橋脚が多数設置されていて、この構造こそが永年にわたって川辺川の強烈な洪水に耐えてきた理由であろうと納得できました。

地形図から橋の長さを求めてみると、約二五〇mあります。この長さは現在の柳瀬橋にも適用できる数値です。幅は、私が初めて初代柳瀬橋を目にした時、通常することのない「目測」を友人たちも巻き込んで行った記憶があります。私の目測は二mでした。この目測の結果は、必ずしも検討はずれではなく、ある意味からすれば真実にせまる数値でもあつ

たのです。

通常、公道に架けられる橋は市町村によって建設されるものであつて、個人によって建設されることはありません。ところがこの初代柳瀬橋は個人の手によって建設・架橋された驚くべく橋なのです。しかも架橋の理由も常識の域を超えたものだったのです。

では初代柳瀬橋を架けた人物とは一体誰だったのでしょうか。それは明治以降のことなのですが、郷土第一の大地主であった木上村（現錦町木上）平山家の二代目当主、その人だったのです。平山家は人吉中学校がグライダー訓練場として借地していた土地の持ち主でもありました。

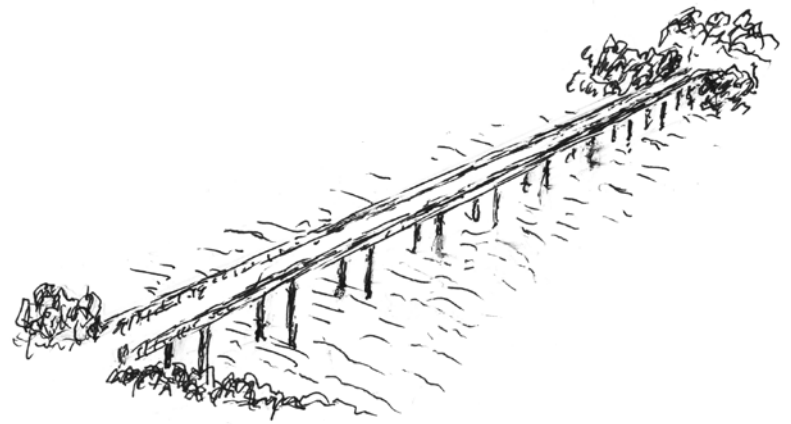
私たちが平山家の存在を知った頃には、二代目当主はすでに亡くなつ

ていたと思われます。というのは、その後、訓練場が無償で人吉中学校に贈与されることになり、二代目当主夫人が来校されたからです。数十人の教師と八百人の男子生徒が見守る中、講堂の演台に立たれた奥様は、いささかも臆おくすることもなく、堂々たる態度で挨拶されました。この日の奥様は紺系統の和服姿で、時折キラキラと光る眼鏡がとても印象的でした。中肉中背で五十代後半と思われる奥様は、遠目がちなながらも美しい方だと見受けられました。才色兼備の女性とはこんな人というのでしょうか。話が横道へそれましたが、改めて問題の核心にせまることにします。

ある時、二代目当主が所用のため福岡に行き、たまたま米国製の高級

自動車クライスラーが目にとまったのでした。見ているうちにその車が欲しくなり早速、購入の運びとなり、運転手も雇い入れ、クライスラーで人吉を目指したのです。

人吉に到着する頃には多分、日暮れだったことでしょう。その夜は運転手とともに人吉の旅館に二泊し翌朝、木上村の我が家に向かったのですが、その時でした。川辺川に差し掛かった時、橋がないことに気づかれたのです。もちろん球磨川に掛かる橋を利用することも考えられたのですが、当時の橋は全て木橋であり、重量物であるクライスラーには耐えられず、しかも橋の幅が狭すぎたのです。この辺りで自分の迂闊うかつさに気が滅め入り、あきらめてしまうのが普通なのでしょうが、二代目当主は、あきら



初代「柳瀬橋」の図（原田 2017）

めきれませんでした。

「橋がなくてクライスラーを家に運べないのなら、川辺川に橋を架ければよいだろう」と考え、初代柳瀬橋の建設に取りかかったのです。県下有数の資産家ならではの発想です。

郷土での最初のコンクリート橋は、人吉の大橋で、昭和三年（1928）に多良木の富田組によって施工されたと記憶しています。初代柳瀬橋の架橋時期については残念ながら不明です。しかし私が最初に初代柳瀬橋を見た時にはかなり老朽化したものであり、大正末期から昭和初期に架橋されたものだろうと考えられました。大橋に次いで郷土での第二のコンクリート

製として架橋されたに違いないと言えます。工事は大橋の建設の実績を持つ富田組に指名されたに違いないでしょう。

架橋に際しては、短い橋ならばともかく、二五〇mにも及ぶ橋です。平山家がいかに資産家だったとしても使える金額には限度があるはずですから、橋幅をクライスラーがぎりぎり通れる幅にした筈です。ここで問題なのはクライスラーの車幅です。

このことについては私が今お世話になっている倉敷市の養護施設オリーブの職員である西山健太郎氏にお願いして調べていただきました。西山氏によると「クライスラーは様々な型式があるのですが、最も標準的な車幅は二mから二・〇五mです」と

のことでした。そうであれば車の左右に運転可能な最小限の隙間を設けて計算した場合、初代柳瀬橋の橋幅はおおよそ二・五mくらいであったと思われる。従って中学生の目測である二mは当たらずとも遠からずと言えるでしょう。

人吉中学五年生の時に木上村出身の桑原俊介君の案内で、郷土一の分限者である平山家を訪れたことがあります。途中、木上村に入る時に球磨川に架けられた鉄線ロープ製の吊り橋を渡った記憶があります。吊り橋には長さ一m、幅二〇cmほどの板が並べられていました。恐る恐る渡りましたから、対岸まで大変遠く感じられました。

平山家の入口には両開きの大きな鉄製の門があり、そこから北側に向

かつて広い道路が直線上に伸び、その先に広がる斜面は庭園となっており、一面にツツジなどが植栽されていました。また通路の西側には建物があり、特に避雷針が高く突き出た緑の屋根の洋館がひととき目立っていました。これが初代柳瀬橋を独力で架橋された平山家第二代当主が育った家でした。初代柳瀬橋の写真も実在することでしょうが、私の少年時代の記憶に残る懐かしい初代柳瀬橋のスケッチを添えておくことにします。

北御門 二郎・訳

トルストイ短編集

帝政ロシア時代の物語を北御門二郎の



「心訳」で贈る

現代人へのメッセージ

新たに編集された「カフカの捕虜」「神は真実を見ぞなわす」「舞踏会の後」「霊のアリョーシャ」「贗造クーポン」の5本を収録

レフ・トルストイ／作
北御門 二郎／訳
表紙絵／田口宏昭
北御門すすぐ・たえ子／編

■A5 判／並製本／192 頁
■定価 1,500 円（＋税）
送料 100 円

発行元：人吉中央出版社

なおこの物語は、平山家との親交があり後年、熊本南警察署長となつた桑原俊介君から聞いた話を元に記述したものです。

【はらた・まさふみ／元人吉市文化財保護委員、倉敷市】

松岡隼人・人吉市長、田中哲・市議会議長へ望むこと

後世に誇れる木造人吉新市庁舎を創る会 代表 松本晉一

本誌読者及び関係の皆様方へ

さて、以前から人吉市役所本格木造での新庁舎建築については、ご協力ご支援を頂き、御礼を申し上げます。掲載の文面のように5月12日、「後世に誇れる木造新市庁舎を創る会」の3名の会員と共に市役所を訪問して、「本格木造での利点 説明と、以下の3つの要望」..

- (1)基本計画も決まらぬ中、人吉新聞紙上になぜ鉄筋コンクリート4階建ての建造内容の掲載がなされたか、その理由と経過説明
- (2)次の基本設計、実施設計にはぜひ、本格木造の設計図面を書いて頂き、そのプロセスを開示してもらうこと
- (3)じっくりと市民県民の要望を受け止めて、後世に悔いのない建造物をつくること、そのためには庁舎建造の建造

開始を早急にする必要はないこと

この3点を松岡隼人・人吉市長及び田中哲・市議会議長（当日不在）、井福準備室長に説明要望。今回訪問の主目的は次の基本設計、実施設計図面には木造での図面をぜひ作成されるよう要望書の提出を致しました。さらにそれらを取材された新聞各社の報道もなされました。

この時、これからの図面作成の経過や内容も公開するように依頼、要望致しましたので、人



市長室での要望書説明 右端は松岡市長、左から4番目は井福準備室長（5月12日カルチャーパレス）



熊日新聞と人吉新聞の報道内容（5月13日）

て..

- 1、当方の意向（要望）がどれだけ取り入れられた回答であるか
- 2、質問への回答が妥当で、当方の疑問を解消する正確な内容であるか
- 3、特に本格木造による基本、実施の両設計図面が作成されるのか否か
- 4、市民の市役所建造方法についての意見、考えをさらに探る（添付文章）
- 5、大型木造建築物の耐震耐火の方法についての（新しい）情報を知る
- 6、名古屋城本格木造建築について、その方法・手段ほかについての情報を得る

などを想定しております。

以下に当会が提出した意見書と、ご参考までに人吉市役所新庁舎・基本計画への意見（松本のパブリックコメント抜粋）を添付しておきます。ご一読をいただき、木造庁舎建造への次につながる手だてについて、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。（平成29年6月6日）

吉市側の回答を待つ予定ですが、現時点（6月6日）ではまだ回答を得ておりません。今回の要望書により今後、市長、人吉市や市議会の意志、考えが、従来型の鉄筋コンクリート造から、本格木造化へと大きく方向転換が図られるものと期待するところです。皆様方にも、今後の市側の対応や内部情報につきましては、関連情報のあり次第、ご連絡を頂ければ幸いです。

次のステップとしては、人吉市への要望書の回答を待つ

○要望は以下の３点です：

要望1、山下設計へのプロポーザル決定の選定経過とその内容が不透明な中、そして基本計画も決定していない時点の本年１月１日、地元新聞紙上に“鉄筋コンクリート４階建て”という見出しで構造体の提示が出されました。いつ、どこで、誰が、なぜ、それを決められたのか？これらの内容と経過を具体的に公開して頂きたい。

要望2、次の新市庁舎の基本設計、実施設計の両図面には、上記の木造の利点を活かした、市民の意志が込められた本格木造の基本及び実施の両図面を作製し、その作製プロセスの経過を、逐次情報開示して頂きたい。たとえ工期が遅れたとしても、地域関係者の皆様全体で、木造の英知を集積集約し、市役所新庁舎の本格木造化に向けて、基本設計をしっかりと議論精査し、木造による市庁舎の実施設計と、その具現化を望みます。

要望3、昨年４月の熊本地震により、八代市や宇城市他、多くの市町村で庁舎建造が予定される昨今、物価の上昇、人材不足がさらに予測されます。またオリンピック需要を含め、国内全体がそういう時期に差し掛かります。この時期に何も建設を急ぐ必要はありません。予算の期間内執行や安易な従来工法に捉われない、今後を見据えた、後世に悔いのない、後世に誇れる機能と役割を持つ木造市庁舎の設計と建造を望みます。

この新しい本格木造市庁舎建設について、人吉市長を始め、市議会及び人吉市の行政執行関係者の皆様方、人吉球磨の郡市民、そして多くの県市民の皆様方のご支援、ご賛同を得ることで、本格木造の名古屋城にも匹敵する、他所にはない本県人吉市独自の本格木造市庁舎の建造完成につながるものと考えます。

このことによって、完成する木造市庁舎は「地域文化創生の発信源」「になるものと確信致します。

ここに改めて、後世に誇れる木造新市庁舎の建設を要望いたします。

※なお、この要望に対するご回答は可及的早期にご返事を頂ければ幸いです。

平成 29 年 5 月 12 日

「後世に誇れる木造人吉新市庁舎を創る会」

会員：井上 温章 松本 晋一（代表） 山口 啓二 吉岡 弘晴ほか

連絡先：熊本県人吉市蓑野町 344 山口啓二（〒868-0061）

Tel：090-4993-1192 Fax：0966-25-1360 Email：smatsu@fsinet.or.jp

人吉市長 松岡 隼人 様

要望書「木造新市庁舎は地域創生の光!」

これまで多くの市民、木材業界他から人吉新市庁舎は「木造で」という要望・陳情がある中、本年１月１日、人吉市のプロポーザルに選ばれた山下設計九州支社から、まだ基本計画の確定していない前段階で、地元新聞の1面に“鉄筋コンクリート4階建て”の見出しで建造方式の掲載がなされました。

なぜ4月末の基本計画の決定以前から“初めに鉄筋コンクリート造ありき”なのか？それが不可解なのです。この建造方式の選択は、恐らくは建設期限、そして予算の範囲内と言う条件下では“従来工法による当然の帰結”として決定されたものかと思います。

しかし、1年半以上も前から多くの県市民や地元業界により、既に木造での市庁舎建造の陳情や要望が数多く成されているのです。そこで次の基本設計・実施設計には、他所にない本格木造の設計にチャレンジされて、しっかりと木造の図面を提出して欲しいという要望です。

これまでも多くの提言を申し上げましたように、

本格木造での人吉市新市庁舎建設により：

- 1、木造で災害に強い耐震、耐火の大型建造物が可能、県・国も木造を支援
- 2、地域の木材資源がしっかりと活き、独自のデザイン設計が可能
- 3、今なら、まだ地元の伝統木造技術と人材（大工さん）が活かせる
- 4、木には百年、二百年以上の寿命があり、改築、補修も容易である
- 5、木造そのものがヒト（市民や職員）に優しく、行政にも潤いが増す
- 6、木造公共建築が広く地元の観光振興・産業振興につながる
- 7、木造建築はこの人吉の町の歴史と景観にマッチする
- 8、木造新市庁舎そのものが人吉やこの地域の象徴（ランドマーク）、さらには他所にない地場産業（林業や観光業他）の広告塔となる
- 9、時代を経れば、木造新市庁舎そのものが後世へ誇れる資産・財産となる
- 10、次の基本設計、実施設計に木造を選択することで、この新市庁舎建造が、市民参加と情報公開、地元住民のコンセンサスづくりにつながる

以上の多くの利点があります。鉄筋及びコンクリート建造物は必ず錆びと風化により、50年後には経年的劣化に至るのです。新しい時代の設計と建築は“木の文化”へとシフトしています。

9、防災を含め、地域づくり、人づくりは市庁舎の構造などのハード（外側）ではなく、そのシステム（中身）である

3、行政への「お任せ防災」への是非

ご承知のように、多くの天災（災害）は地震予測と同じく予知はできません。そしてその災害については、各個人が自分の命、家族の命の守りに備えれば、それが地域の防災にもつながります。サバイバルのその基本は、まず行政や地域に頼るものではありません。その一例として「誰かを助ける美談はいらない。まずは自分の命を守るのが大切」とする「命、てんでんこ」の精神（それぞれが自分を自分で守る）が大事（元釜石小学校校長、紺野仁司氏談）であり、

同じく「今まで、私個人も含め、行政主導の防災や危機管理に頼りすぎていた。大切な命の預け先が自治体だけでいいのか。行政から地域主導へと移すことで、住民一人一人の主体性が育まれ、コミュニティの結束も強まる」（高知県黒潮町大西勝也町長談）。このように、これまで、そしてこれから「行政へのお任せ（防災）」では、熊本地震の状況を見ても、その実質的効果はあまり期待出来ないのが判るかと思います。このことは街づくりでも同様だと考えます。

4、まとめ：「より大切な市役所（市庁舎）の機能とは」

結論として、「新市庁舎造り」は「堅牢な防災施設（市庁舎）の建設」が目的ではありません。本格木造による市庁舎建設の利点にもあるように、ここで改めて、市庁舎すなわち「市役所の役割、機能とは何か」を見直して、この人吉球磨の地、人吉の町の景観に相応しい、後世に誇れる、地域の暮らし（文化）や仕事（産業）、そして景観を守る「本格木造市庁舎による建設」を切望します。

急ぐ必要はありません。木を活かした実施設計には、少し時間はかかるかもしれませんが、しかし、この新市庁舎建設の起点と終点までの各ステップこそが、「市民と住民の意思が反映される街づくり」にもつながるものと信じます。

<関連資料>

- ・「これからは木の時代!人吉の新市庁舎が、なぜ鉄筋コンクリートなのか?」
くまがわ春秋第10号(2017年1月号)62～65頁
- ・「新市庁舎づくり：これからの人吉のために」＝人吉市役所・新市庁舎に本格木造を希望する理由＝くまがわ春秋第11号(2017年2月号)64～67頁
- ・「人吉らしい、本格木造による実施設計を!」人吉市役所新市庁舎・基本計画への意見（パブリックコメント）松本晋一 平成29年2月18日
- ・市長あて要望書「木造新市庁舎は地域創生の光!」後世に誇れる木造人吉新市庁舎を創る会 平成29年5月12日
- ・市民他への配布資料「後世に誇れる、木造人吉新市庁舎建設を!」後世に誇れる木造人吉新市庁舎を創る会の意見にああなたのご意見をお聞かせください 平成29年4月吉日

＝パブリックコメント抜粋（1は省略）＝

熊本地震人吉市九日町 115 松本晋一 平成29年2月18日

2、防災センターに特化した市庁舎づくりの問題点

なぜ、昨年4月までは「市庁舎建設の木造化」を進めてきた松岡市長の考えが、急に災害に強い市庁舎をめざしたのか？ その理由として4月14日の熊本地震の影響が色々な意味で大きく関与し、「防災センター機能を備えた堅牢な総合庁舎」という建造方針へと方向転換をされたことは承知しています。そして勿論、震度7程度の地震には耐え得る構造の市庁舎でなければなりません。

しかし、どんなに堅牢な建造物や護岸設備を造っても、それ以上の予期せぬ、想定外の大自然災害（大水害・大津波・大地震他）の力には及びません。ハードは必ず壊れ、その寿命も必ず来ます。その点、本格木造にすれば、災害にも耐え、低廉でもあり、その修復や修理はいたって容易ですし、その多くの利点は上に挙げた通りです。

もし、自治体本庁舎（市役所）が各種の自然災害で被災したとしても、防災センター（拠点）として必要な機能は、どこかで、何らかの方法で、維持・カバーすることが可能ではないでしょうか。

仮に、激甚災害（水害、火災を含めて）が本当に起こったとすれば、そこでどういう事態（問題点）が起こり得るでしょうか？

- 1、災害の拠点を置いたとしても、その拠点の防災センター地域が大丈夫とは限らない。そこで大事なのは拠点の数、目的、機能が重要
- 2、たとえ初回の災害で大丈夫だとしても、新市庁舎が連続する大規模な災害に耐えうるとは限らない。次に来る自然の力は予測が出来ず、想定外の災害には、その拠点が大丈夫とは限らない
- 3、大災害の種類、その発生時季や時間にもよるが、現実にはパニックが起こり、実際は何処に、どう逃げたらよいかは不確定、不確実である
- 4、新市庁舎（防災センター）の集容数は恐らく数百～数千人規模に限定され、人吉地区全域の収容は困難であり、川南の住民中心の収容に制限される
- 5、新市庁舎を含め、エレベーターが必要な多重高層の建物は、大災害時にはかえって危険である
- 6、いかなる場所、いかなる状況を想定しても、自然災害には想定内のみの対応であり、市庁舎単一の防災センターでは役割に限界がある。また疾病などの二次災害を含め、収容者は早急に機能別施設に移動させる必要がある
- 7、一つの建造物（ハード）のみに、必要以上の経費を計上するのには疑問がある。大事なものは、災害時の機能（ソフト）とその対応（目的）である。無駄のない有効な災害拠点を各所に備え、公共及び個人の既存建造物を併せて拠点とし、そこへの耐震補強にも予め予算を廻すべきである
- 8、自然の驚異（災害）に対し、より大きな堤防、大きなダム等は自然の摂理にそぐわない。木造建築の持つ、自然に寄り添い、自然に逆らわず、自然との共存という視点が、住環境調和の面からも大事である

書評 上田精一『子供をいつも真ん中に』

あまりにも正直で、あまりにも刺激的な

上村雄一

ビール党

上田は八代市太田郷小学校、八代二中、八代高校を卒業した八代の人である。それが、どうしたことか人吉球磨の中学校の国語教師になって、いまや完全な人吉球磨の人である。八代人ならともかく、人吉球磨人になっ



青風舎 2017年5月8日発行。同書カバーは人吉市の山口啓二さんの写真。8月の川辺川の朝日を撮したもの

てしまったためか、上田は酒が好きである。特にビールを好む。普通なら、本を書くときになどには、そうしたことは隠すのだが、上田はそうではない。それどころか本書のいたるところに、酒の話がでる。本書を執筆するきっかけになった場所も居酒屋だ。「先生の指導方法には問題がある」と生徒たちから詰め寄られて落ち込んでしまったときにも、上田はビールを飲んでいる。もしかしたらアルコール中毒の一手手前かと心配にもなるけど、八十歳をむかえたいまでも精力的で記憶も確かなところを見ると、そうではないようだ。小山勝清は上田の大叔父である。勝清は焼酎が好きであつたが、勝清と同じ血が上田に流れているのかもしれない。文章力もそうであろう。歌人でビール好きといえは啄木がそうだ。しかも、歌の内容が似ている。不思議だ。

アカ教師

若い人と話すと「アカ」が死語になっているのに気づく。「左翼」もそうだ。「革新」はかろうじて生き残っているが、このままでもいくと使われなくなるおそれがある。いまは「与党」と「野党」に単純化されていて、分かりやすくなっているが、それがいいか悪いは分からない。野党なしになると全体主義の世界になり、それは困る。野党だけは死語になつて欲しくない。

「アカ教師」。この言葉は確かにわかりにくい。基準がないのだ。なにをすれば「アカ教師」で、なにをすれば「シロ教師」なのか、蜂楽饅頭のように見ただけではアカかシロかは分からないし、どちらも美味しいかもしれない。だから、「アカ教師」のレッテルには触れまいとおもつたのだが、上田自身がそのような陰口をうけたと書いているので、上田に対して世間の一部がどうみていたのかを確認するため、あえて、これに触れることにした。そうだと、上田は教職員組合の活動家であつた。

それとも関係しているのだろうけど、上田は教師仲間

のあいだで（職員室内で）少数派であつた。先生たちに派閥があるのかと驚く人もいるかもしれない。しかし、考えるまでもなく教師は一定の教育論に基づいて生徒に接している。教育論なしの教育はありえないし、あつてはならない。どのような教育論に立脚して教育すべきかは難しい問題だが、そうしたことが原因になつて「少数派」は生まれる。漱石『坊ちゃん』と少し状況はちがうけれども、坊ちゃんは山嵐とともに少数派であつた。上田は坊ちゃんと同じである。そうならば、赤シャツ、野だいこはいたのであろうか。うらなりはどうか。狸も気になる。マドンナは間違いないであろう。残念なことに、そういう話は本書に登場しない。しかし、教師の世界は全体社会の一部である。赤シャツたちはいたにちがいない。

周辺の生徒たち

「先生たちやヒュウ（びりの意）になつたものの気持ちはわからなれんでしゅうな、学校時代は成績のようあんなつたるうで」と生徒の父から語られたとき、その生徒にどのように対応したらいいか。その父は、正座してかしこま

ている小柄の息子の頭をなでまわしながら、こうも言った。「勉強はできん子ですばってん、牛の世話は一人でしてくるつし、よう働いてくれて助かつとりもす。ばってん、学校じゃようとわからんヒュウの子ですもんな」。

上田は父親の言葉にハンマーで殴られたような衝撃を受けたという。このときの上田の勤務先は人吉一中である。当時、同校では、テスト結果を集計して上位者の名前を職員室の廊下にはりだしていた。父親はそれを批判したのだ。こういう状況に直面したとき、教師はどうしたらいいか。教師だけでなく、私たちはどう考えたらいいのか。上田の回答は本書に書いてあるが、高校受験などを考えたとき、それは、それほど単純ではない。

喧嘩の仲裁に入って逆にこん棒で頭を殴られて撲殺された父親を失った生徒がいた。生徒は寡黙になった。勉強意欲も失っていた。そのような生徒に出会ったとき、どうしたらいいか。上田の対応は本書に書いてある。錦中学勤務時の話である。酒、タバコ、バイク、喧嘩、恐喝をくりかえす生徒がいた。多良木中勤務時代の話だ。その生徒は卒業までもなくして事故死する。金八先生に出てき

そうな話だ。金八先生でなければ解決できそうにない話だ。そういうば、上田の髪は長く、金髪である。

教育群像

「人吉一中」、「錦中」、「多良木中」のように本書の内容はすべて具体的に、学校も教師もほとんど実名で登場する。一部の仮名も当事者なら容易に実名を推測できる書き方をしている。これほど具体的に書けばなにもごまかせない。評価のちがいは残るであろう。しかし、事実の有無は動かせない。たとえば相良北中のバレーボールが強かったこと、それは当時30代半ばの谷永悟の指導力によるところが大きかったこと、谷永が2016年（平成28年）3月、人吉二中の校長を定年で退職したことなどは分かりやすい例である。谷永はあくまでも一例であって、本書には多数の教師・生徒が登場する。登場人物を眺めるだけで読者は過去を振り返り時代を想うであろうし、登場人物を整理すれば人吉球磨の教育群像を描ける。個人的には、『概説 相良藩』（人吉中央出版社）の著者・尾方保之に触れた箇所を読み、『相良藩』がますます好きになった。

イワンの馬鹿

上田は、社会関係のなかで自己の人格が形成されることを自覚している。生徒、生徒の親、教師仲間はもちろん、そのほか、さまざまな場で多数の人に影響を受けた自己の人格を形成してきたことを具体的に語る。北御門二郎（翻訳家）、丸木正臣（教育家）、今井正（映画監督）、新藤兼人（映画監督）などの有名人もいる。上田は特に影響を受けた人物として桑原寛を上げている。上田より10歳上の先輩教師で、「生涯一教師」を貫いたという。私は桑原を知らないが、上田に影響を与えた人物である。人吉球磨の教育史に残る人であろう。上田はそうした人々を無数にあげている。上田は天動説者のようにみえる。彼のまわりをキラ星が回転している。私は星の名をほとんど知らない。しかしさすがに、トルストイは知っている。トルストイを読むとすれば何をもっとも推薦するかの上田の問いに、北御門は「イワンの馬鹿」をあげたという。それを知り、早々に、北御門訳の「イワンの馬鹿」を再読した。本書には、そうさせる力がある。

家族はつらいよ

敬称を省略し一読した印象を思いつくままに並べた。かつて「でも、しか先生」という蔑称があった。とんでない言葉だ。むかしから教師は楽な職業ではない。いまだでは長時間労働の代名詞になっている。一部の現役教師は本書を古き良き時代の話であると受け流すかもしれない。長時間の勤務は本を読む力を奪う。本書を読みたくてもそれができない教師もいるであろう。読書は強制できない。それを前提に言う。人吉球磨の教育史を語るとき、本書は必読書である。上田の活動は多方面におよぶ。映画センター、九条の会の活動は特に目をひく。映画論を上田に聞きたい気もする。山田洋次「家族はつらいよ」についてとくに伺いたい。

上田は云う。

「妻ありてこそわが教師人生」

廸子夫人は、さぞ、ビールが美味しかろう。

外来語から学ぶ英単語 (15) …… 藤原 宏

ユニバース ・ ユニバーサル ・ ユニバーシティ
universe universal university

universe (ユニバース) はラテン語の「uni (ウニ、一つに) + 「versus (ウェルスス)、向かった・転じた」が語源で、ばらばらのものが一つの方角に向かい「統一されたもの」が原義です。そこから「宇宙・全世界・全人類」などの意味へ発展しました。

universal (ユニバーサル) は **universe** の形容詞形で、「すべてに共通した・普遍的な・万人に共通の・宇宙の・全世界に通じる」などの意味です。

近年は、障害者福祉に関連して、「**universal design** (デザイン)、万人に通じる方式」ということばをよく耳にします。これは、自分自身も車いす生活の障害者であった米国の **Ronald L. Mace** (ドナルド・メイス) (1941 ~ 1998) の提唱で始まったもので、健常者・障害者を問わず、すべての人に使いやすい製品・環境・情報などを創出する運動のことです。

「**college** (カレッジ)、単科大学」と区別される「**university** (ユニバーシティ)、総合大学」は、ラテン語「**universitas** (ウーニウェルシタース)、全体・同業組合」がフランス語を経て借用されたものです。ここでは、教師と学生を含めた総体としての大学を意味しました。(381)

鶺鴒短歌会

五月詠草

かすみたち西の空には茜雲東の空にはおぼろ月見ゆ
春うららひいらひらひら蝶が舞ふ揚羽に黄蝶花に戯れ

守永 和久

去年より藤の花房にぎわいて通る人々立ち止まりをり
五十余年永い交友続きし君の唐突の死言の葉もなく

河内 徹夫

山風に跳ねるが如き鯉のぼり世界の子等の幸を祈らん
スポーツを夫婦でテレビ観戦す昔だったら思いよらぬ

中村美喜子

里山の草刈り作業は快調に身体も馴染み傘寿を忘る
後漕ぐ「高音の瀬」に挑むブコ波に潜りてポカリと浮きぬ

西 武喜

いつ来ても涙なみだの知覧基地 学童疎開の思い出甦る
桜島ぐるりと廻るドライブに二人の元気感謝しながら

釜田 操

ひまわり…

げっかん・ぎひょう



—真相を明らかにしてほしいとの国民の思いがどこまで届くか?—
森友学園問題も うやむやのなか、今回は加計学園疑惑で混迷。『証人喚問』を拒否している政府はどこまで国民の声に応えるのか注目。

やがて来るその日の備へ終活の遺影の写真選択迷ふ
激動のこの世に生きた証しにと下手な短歌を詠みて残せし

緒方 保正

骨折し一年過ぎて振り返る元の身体によくぞ戻らむ
数十年逢うことなかりし同級生 顔と声には昔の面影

中原 康子

竹藪に猿がいはいか確かめて急ぎ籠持ち小さん竹とり
もぎたての色鮮やかなグリーンピース夜の一膳豆ごはん

三原 光代

里山は猪鹿に荒れ果てて子供の頃の面影見えず
黄水仙芦北の海は夕陽のみ帳下りればいさり火揺れり

橋詰 了一

この齢になっても夢に現れる英語試験に苦闘の我が
花薫る春の静寂に溶け行きて浮遊してみたき吾の心を

堀田 英雄

《資料探索》

編集部

一億二千万匹と云う大量の孵化を行っている。……来年度における球磨川鮎の繁殖は、すばらしいものであらうと期待されている。」

②鮎などの外部からの搬入(昭和32年8月26日 熊日新聞)

なんらかの事情により種々の生物が減少したとき、あるいは、人間の需要を満たすため、それら生物の人工孵化または外部から搬入がなされる。魚族についての資料をみつけたので紹介する。

「球磨川に今年からウナギなど放流

八代市の球磨川漁協では、荒瀬ダムが出来てから、球磨川の魚類が年々減少していくので、その対策として本年三月荒瀬ダムの人工湖で孵化したワカサギ、六十万尾をはじめとしてアユ等を放流したが、本年度はその量を増やすとともに、ウナギ・コイ・フナ等の孵化や放流も計画、魚類の増殖をはかることになった。

このため来年の夏から球磨川の魚はぐっと増えるものと期待されている。

「アユ」球磨川河口産の百七十万尾をはじめ、水俣市袋湾・鹿児島県池田湖や琵琶湖から、計三十五万尾を取寄せて放流するほか、一億五千万粒の人工孵化も計画。

①鮎の人工孵化作業(昭和11年10月27日 九州日日新聞)

「年産額二百万円を算し、球磨・葦北・八代三郡の漁業者の死活権を握る球磨川鮎の繁殖については、数年前より球磨川漁業組合で、鮎の人工孵化作業を行ひ増産を計っているが、本年は県及び政府の補助を得て大々的規模の下に八代郡上松求麻村荒瀬に孵化に必要な倉庫・諸道具類を新設或いは準備し、本日二〇日より向ふ二三日間に亘つて県水産試験場の指導の下に、昨年の五千万匹に比し本年度は、

「ウナギ」鹿児島県川内川および大阪方面から、ウナギの子五十二万尾を移入。

「県水産試験場に孵化を依頼していたのをはじめ、県内から稚魚二十万尾以上を取寄せ、今月下旬から九月にかけ

て放流する。

「源五郎ブナ」県内から五万尾を集めて放流する。

「ワカサギ」さる二月から県水試の手によって、荒瀬ダムの人工湖で、茨城県霞ヶ浦から四十七万粒、鹿児島県池

田湖から十三万粒、計六十万粒が初めて孵化され、新しい球磨川の夏の味覚として登場したが、本年度は更に霞ヶ浦などから二千万粒を取寄せて、人工孵化を行いダム上流に二千万尾下流に百万尾を放流の予定。」



荒瀬ダム下流約400m地点にある鮎の孵化場



わたしの「女工哀史」

白城松男

エンブリーの『須恵村』は機械化と貨幣化に注目している。しかし工場労働を主要なテーマにしたわけではない。都市ではなく、漁村でもなく、稲作の村にエンブリーは焦点をあてた。それは不当ではない。むしろ論点を拡散させないために必要な作業だ。同時にそのことは、『須恵村』をよむとき、



高井としを 著（岩波文庫）
（2015年5月15日）

その射程が限定されていること私たちは自覚しなければならない。

『須恵村』や『須恵村の女たち』を読むだけでは戦前の日本の姿は十分にはみえてこない。エンブリーは、①稲作部落、②商業部落、③丘陵部落、④山の部落、⑤新しい部落（新たに形成された部落）の5つの類型で須恵村は構成されているとした。それは、あくまでも稲作の村内での分類であって、そこからは都市と農村の関係は明確にならない。

工場労働については横山源之助『日本之下層社会』（明治32年）、農商務

はじめとして女工の実態を和喜蔵に語ったのであった。『哀史』はいわば二人の共著であった。

和喜蔵は『哀史』出版のわずか1ヶ月後に急性腹膜炎で倒れ、その1週間後には、長男も急死した。その時のとしをの落胆はどれほどのものであったろうか。としをは、その2年後、労働党の活動家であった高井親太郎と結婚し、高井姓を名乗ることになった。

本書は、高井としをの自叙伝で、『女工哀史』の成立過程や女工の一生を淡々と綴っている。平仮名の多い会話体で、いわゆるオーラル・ヒストリーに属する。『哀史』は世間の注目を集めた。しかし、印税は彼女にはいかなかった。なぜか。再婚相手の高木は治安維持法によって度々検挙されたが、その時、彼女はようやく暮らしてい

省商工局『職工事情』（明治36年）、細井和喜蔵『女工哀史』（大正14年）などが当時の状況を記録している。工場労働そのものではなく、しかも小説だが、小林多喜二『蟹工船』（昭和4年）も雇用労働の過酷性を描いた作品として有名である。それらに描かれている労働者の状況と『須恵村』とはどのように関係するのであろうか。時期・内容が異なるので、それらを簡単には比較できないが、『須恵村』には『女工哀史』と関係する一節がある。

紡績工場が女工を求めて須恵村にきていた。娘たちは「数年間は都会に出て稼ぎに行つてから、村に帰つて結婚する。彼女らは帰村しても、村では面白くなく、都会生活を渴望し、たとえ帰つて来ても、もう前のように農村的でなくなっている」という。農作

たか。戦後も、彼女は失業対策事業（ニコヨン）に従事するなど生活は楽ではなかったが、なにが彼女をさえたのか。

職工・女工は死語になった。しかし、雇用労働の状況が改善されたわけではない。過労死はその典型である。『女工哀史』から90年以上経過しているにもかかわらず、「働き方改革」が政治課題にならざるをえない日本とはどういう国であらうか。としが生きていたら、現在の状況をどのように思うであらうか。

『わたしの「女工哀史」』は昭和55年に草土文化社から出版された。高井としをについては、中村政則『労働者と農民』（小学館ライブラリー）が参考になる

【しらき・まつお／八代市】

くまがわ学習塾 ⑥

問1 () を埋めよ。

- 1、あさぎり町は、平成 15 年 2003 年 4 月 1 日に () 村、() 町、() 村、() 村、() 村の 5 町村が対等合併して発足した。
- 2、球磨川の別名は () 川である。
- 3、荒瀬ダムは、八代市 () 町にある。
- 4、肥薩線海路駅は () 駅と () の間にある。
- 5、八代市の市鳥は () である。

問2 ○か×か。

- 1、『菊と刀』はエンブリーが書いた。
- 2、トルストイはフランスの文豪である。
- 3、八代市の市長選挙は来年 7 月にある。
- 4、祝日がないのは 6 月だけである。
- 5、漱石『三四郎』の主人公・三四郎は熊本生まれである。

問3、() を埋めよ

- 1、球磨川支流・油谷川の別名は () 川である。
- 2、山田村の伝助は () の信者であった。
- 3、北御門二郎は、晩年、() 村で、晴耕雨読の生活をすごした。
- 4、韓国の大統領の名前は () である。
- 5、丸山応挙は () 派の画家である。

問4、4 字熟語である。() を埋めよ。

- 1、漱石 () 流
- 2、則天去 ()
- 3、狡 () 走狗
- 4、一石 () 鳥
- 5、四 () 楚 ()

問5、写真を見て問いに答えよ

- ① 錦町にある国指定文化財の家屋である。名称は？



()

- ④ 芦北町にある球磨川の支流である。名前は？



() 川

- ② 八代城主松井家の別邸で、花菖蒲で有名な庭園の名前は？



()

- ⑤ 隠れ念仏で有名な球磨村の地域である。地域名は？



()

- ③ あさぎり町にある神社である。名前は？



()

※答え合わせは次号でおこないます。
前回の答え合わせは 94 頁で。

★全問正解者には抽選で弊社の書籍を
プレゼントします。ハガキ又は封書で
弊社まで解答をお送りください。

字図で見る球磨の地名 ⑭ 上村重次

橋詰と柳詰（ハシツメとヤナヅメ）

― 球磨村一勝地 ―

球磨村一勝地、芋川（イモゴウ）が本流の球磨川に合流する近くに橋詰と柳詰があつて他所者は戸惑う。橋詰は一勝地甲、柳詰は一勝地乙の大字である。この付近は甲・乙・丙・丁という大字の要（かなめ）になつており、古い時代のムラ境地であつたことを地名が示している。

二つの字名に共通する「詰」は先端のこと、指先の爪も語源は同じであり、橋爪と書く地名や姓もある。また普遍名詞としては橋端をハシツメ、軒端をノキツマとも読む。

『大言海』によると著（はし）、端（は

し）、橋（はし）、階（きざはし）、梯（はしご）、考（くちばし）、始（はじめ）、初（はじめ）などのハシは同根の語という。従つて地名としての橋詰はムラ区域の端つこであり、始まりでもある。運動会のヒュウも回れ右すれば一等賞、というのと同じ理屈。糸の先端は糸口でもあるから端緒の熟語がある。

このように橋詰は区域の先端、境地に名付けられる地名であるのは字図によつても確かめられる。問題は柳詰の「柳」である。植物のヤナギに柳があてられるのは矢の木の意で「の」は箆（の、矢竹）のこと（『大言海』）。『萬葉集』巻10・2149の

【おこわり】本連載は平成6年から9年にかけて執筆されたものの復刻版です。市町村合併前の地名となつていますが、ご了承ください。

あしひきの やまよりきせば さをしかの
足火木突 山從來世波 左小鹿之
つまぶこえは ともしくもあるか
妻呼音者 乏毛有香

という歌の「突」は矢竹が箆（の）であることから、矢と竹を組み合わせた造字（和製漢字）とされる。ヤノキの「ノ」が音転してヤナギというヤマトコトバが生まれたわけである

例を挙げるまでもなく、柳地名は各地にあり、ヤナギと訓む場合もあればギが抜けてヤナと言う所もあり、ヤナには築・梁の字を当てる地名もあつてややこしいが「ヤナギ・ヤナ地名は植物の柳、漁の築に由来する」

というのが普通である。

ところが漢和辞典を見ると梁（りょう、はし）とあつて橋のことであり、土木用語の橋梁は橋の意を重複させた語。川漁の梁（やな）も川のハシか

らハシに仕掛けることから生まれた言葉でルーツは橋（端）ということになる。

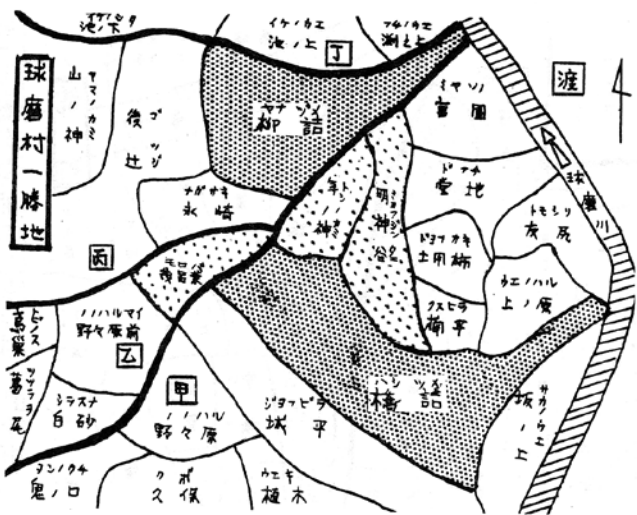
橋詰が一勝地甲という区域（ムラ）の先端（はしつこ、始まり）を表現するのと同じ事柄を表わすのに同じ用語では混同するところから、一勝地丙のムラ

では橋詰と同意の梁詰（やなつめ）にしたのが、柳詰と書かれるようになったのである。

梁（やな、はし）の媒介によつて地名に用字される橋と柳が同意であることが推察されるし、一勝地の柳詰・橋詰が同

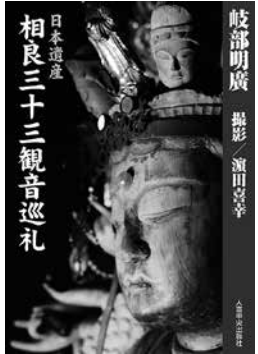
義地名であることは字図が実証している。柳地名解明の実証例としては希少価値が高いわけである。

【うえむら・しげじ／宇土市生まれ、元熊本日日新聞社記者】



さあ、巡礼の旅に出よう。

相良三十三観音と人吉球磨の「日本遺産」を熱く語った
ずしりと重いガイドブック



■A5判／上製／400頁
■定価 2,100円（税込） 送料 200円

〒868-0015
熊本県人吉市下城本町 1436-4 の3号
TEL・FAX 0966-23-3759

人吉中央出版社 info@hitoyoshi.co.jp

方言を味わう⑫

同じ球磨弁でつちや意味から発音まで違うことも



前田 一洋

球磨・人吉盆地を東西の二つに分け、その東つまり球磨川の上流部のことを、古くから「かみやげ」と呼んできた。この地の人々が霊峰と崇め、「お嶽さんみゃーり」の折りに通った市房の麓、湯山の一角に「神揚」という所があったため、そう呼んだのであろう。

それに対して「百太郎溝」の末端部で、その流れが合流する錦町一武と西地区の境にある「原田川」あたりから、人吉を含む西半分を「しもくち」といささか下品な連想を起こしそうな呼

び名ではあるが、昔はそんなイヤしい考えを持つ人はいなかったであろう。

「なつば、川辺川筋の相良やら五木やなんちゅうと」、「横球磨たい」。

まあ最後のは冗談であるが、この盆地を東西二つに分けてみても、そこでの「球磨弁」のニュアンスにいささかの違いがみられる。

〇おまい

「父さん、おまや今夜は飲み方ちいおつろがな、早よ行かんばかてやれ

〇…やる

「今夜は、おいぎやに校長先生と受け持ちん先生の来やるちゅて、言いやつたばい」。

「なんて、校長先生も来てくつやつとや、そらア存分飲まんばんたい。わいどんが先生も若こうしといさみゃん、球磨拳まで打ちきつやつとじやつで楽しみ。カカしやんにも、えろつごつオしでくつやるごと言うとけ」と、カミヤゲのおトつちゃんはエベス顔だ。

ところがどっこい、こちとらシモの親父。

「なーん、校長どんまで来やつてや。ナンしぎやごつとじやれろ。わつが、いつとテーらん事ばかりすつで、ヤカましゅう言いきや来やつとじやろたい。そして受け持ちの教員も、飲みやれば大蛇のぐたつとじやつで、決して焼酎

どま出しなんて、カカしやんに言うとけ。何どもしきやごつとじやれろ」

来やる・食いやる・飲みやる、こうした語尾に「や(あ)る」の付く語も、上と下ではかなりのニュアンスが違っている。上では、遠い所をわざわざ来て下さった。不味い肴なのに、なんとも美味しそうに食べて頂いた。有り難いことに、心行くまで飲んで下さったよなどと、敬意をこめて使われるのである。

ところがシモの方では、このクソ忙しかとこれナンどもしきや来やつとじやろか、教員ちゅうはどういうイヤつさじやれろ、家庭訪問の時にやおが肴までうち食ってくれやつた。ちつと飲みやればクドさがクドさがなどと、全く逆の表現となる。ちなみに敬語的な表現では、来なる、食いなる、飲みなる

んばい」、そのように娘が言ったとする。これがカミヤゲ方面であつたなら、「おろうだんだん、ひゃー七時たい、下駄ども揃えてえーてくれい。肴の旨かどどもがあれば土産に持つて来る」などと云つて気持ち良く出掛けたであらう。

ところでこれがもしもシモであつたなら、それまで穏やかであつたトトしやんの顔は、見る見る如でタコとなり、雷雲と竜巻が同時発生。「おまや今、親に向かってナンちゅうたやナンて。オマイのなんの、どうゆう言葉遣いすつとか。親をばナンて思うとつとや、クソーバカたれが。今どきの教育ちゅうは」などと、学校の先生までもが悪者にされる。

である。

〇

松舟博満さんがかつて、『おつとわつとあすび』という、まことに郷愁を誘われる本を出された。図解入りで、子供たちの遊びを記録したもの。頁をめくるごとに「じやつたじやつた」「そぎやそぎや」の連発である。

これは人吉あたり、つまりシモクチの子供の記録である。もしカミであつたなら、その書名は『おいとわいと…』になる。つまり、おれ・お前・だれは、おつ・わつ・だつと、撥ねて発音する。それに対してカミの方ではおい・わい・だいと、至つて「座り」のよい言い方になる、おなじ球磨弁でつちやばい。

【まえだ・かずひろ／人吉市】

山に行こうよ!

その⑥

「人吉球磨ハイキングクラブ」 通信より

根子岳

標高 1408 m

阿蘇郡高森町

2017 年4月2日 (日)

天候：曇雪

参加者：7名

4月2日(日) 6時前、家を出るときは雨がポチポチ落ちていた。集合場所に集まって、天気予報では良くなるとなっていたので7名、2台の車で6時過ぎに出発する。

南阿蘇への道路は、立野方面の道路が崩壊したままなので、熊本空港手前から俵山トンネルを経由して、高森町、箱石峠へと

向かう。沿道には復興住宅が見え、道路も工事中で、迂回路をぐるぐる回り、やっとこさで、登山口へ続く入り口を見つけた。牧



根子岳山頂で

場の細い道を1.5 km走ると、山の裾に広い駐車場があり、そこに車を停めて準備をする。標高1060m位か。

9時5分に出発する。天気は良くならず、上方は雲に隠れて見えない。登山道は火山灰が積もった黒土で、急斜面の為ズルズル滑って灌木にすがつたり、ロープにすがつたりして登った。標高1370m位で大戸尾根コースと合流する。

少し登ると根子岳東峰の山頂だった。標高1408m。11時25分に到着。

山頂は低木に霧氷がついて白くなっていた。やがてあらまじりの雪も舞いだした。天狗岩は岩盤の下半分が地震で崩れ落ちたのか白く見えていて、海中から飛び出したジョーズが口を開けたようではない味である。

高岳、鷲ヶ峰も時おり見えてく



霧氷のなかを下る

【徳澄正照】

る。大戸尾根から一人若い男性が登ってくる。山頂で写真を取ってもらった。りして、雪の降るなか昼食を取る。12時山頂出発。ズルズル滑る急斜面をそろりそろりと下る。駐車場に13時40分に到着。途中道路の渋滞もあつたりして18時、人吉帰着。

くまがわ春秋歌壇

いもこ短歌会

畔草を刈り進みきて一輪の野薊のみは残しおりたり
戦終わり植えし杉の切株の輪が物語る生き様をよむ

三原 竹二

雨上がりくぬぎ林を登り来てわらび狩りする友の持ち山
手論島珊瑚の海はどこまでもエメラルドにてひがな波打つ

坂本 ケイ

言葉には不思議な力があるものよ「よいしょ」と言いて立ち上がりけり
日一日忘れん坊になりゆけり「俺も同じ」と夫は言うも

上田 廸子

朝早く赤飯配り大勢で祭りのごとき昭和の田植え
園庭の空に名旗の棚引いて我が名見つけて笑顔の子らよ

宮川しのぶ

憲法に接ぎ木したあとでできるのは大手ふるって海外派兵
懐かしき父の古里田野の地にわれを迎えし竜胆の花

吉岡 弘晴

五輪まで使い野望を遂げんとす首相の手口のヒトラーに似て
アベ政治暴走重ね行く先に暗き未来の戦の国が

上田 精一



上杉芳野の「あがつ段」⑬

供養とは…

あるお坊さんは言った。
「供養とは良かれ悪かれ
その人の事を思い出して思
い出話をしてやる事だ」と。
だから私はいくつかの心に
残った方々との思い出話をこ
こに書くことにした。

あれは、あさぎり町社協
に勤め始めた頃に温泉の受
付を担当していた時のこと
だ。

私はお客様との会話を大
切にしていた。

ある日あるお客様から、
「七面鳥ば食うた事あん
な？」と言われ、「いいえあ
りません」と答えると「一
回、食うてみてんない。そりゃ

うまかで。ニワトリの肉
とは比べもんにならない。
食うてみらん、明日持つて
来つて」。

翌日である。

「ちょっと外に出て来てく
ださい。あんたが食うていう
たで持つて来たばい」。

言われたまま外に出てい
くと「久米まで行つて買うて
来たばい、はい、五千円」。

えーっとビックリし

た。

今から23年前の話で
ある。

私は鳥の唐揚げみた
いにしてあるのだろうと
思っていたのに、トウマ
イ袋（米袋みたいな袋）

の中でバタバタ暴れているで
はないか。

生きている七面鳥をその
まま持つて来るなんて思つて
もみなかつた。

確かに明日持つてくつてな
と言われて、はいと返事し
たのだから受け取らなけれ
ばならない。

父に調理を頼もうと電話



すると「芳野、おら、ジュ
リきらんばい（調理できな
い）、バタバタ動くて」と断
られた。
その電話の話をしてお断
りを入れようとすると「俺
が行つて、ジュつてやる」と
いうことになり、断る事も
出来ないまま、そのまま調
理してもらい、二千円ほど
のお菓子をお礼に手渡しし
てお帰り願つた。

七面鳥は旨いとの話では
あったが、油がギトギト、
肉もパサンパサンしていっ
ちよん旨くなかつた。

食べてみたい、と言つた私
のイヤシサがこんな結果と
なつたのだらう。

毎年クリスマスが来る度
にこの七面鳥のことが思い出
される。

今も忘れる事が出来ない。

この方は70歳くらいで亡
くなられたが、いつも温泉に
来て下さるお客様であつた。

この事があつてから、人の
話には直ぐに飛びつかないで、
良く話を聞いて、良く考え
て返事する事になっている。

そんなことに気付かせて
頂いたのは、まさにこのお方
のお陰だつた。どうか、安
らかに眠り下さい。

改めて「供養とは」をテー
マとして次のお方の話も書
かせて頂くつもりです。



あさぎり町のヘルシーランドに勤めていた頃のステージで

私は特に、失敗して反省
し、それが元でまた失敗す
るという、人様にとって、お
笑い人生ですが、すこしは、
かしくなりたいたいです。

私は失敗した事を、笑い

【うえずぎ・よしの／ボランテア
観光バスガール、あさぎり町上】

前号【くまがわ学習塾⑤の答え】

問1 () を埋めよ。

- 1、芦北町は、(球磨) 村、(津奈木) 町、(八代) 市に隣接している。
- 2、球磨川の最大の支流は (川辺) 川である。
- 3、西人吉駅は、(渡) 駅と (人吉) 駅の間にある。
- 4、日羅は (百済) 国で活躍した日本人である。
- 5、鮎漁は (6) 月 (1) 日に解禁になる。

問2 ○か×か。

- 1、小山勝清『或る村の近世史』は須恵村の近代史を書いたものである。×
- 2、球磨村淋地区の柴立姫祭りは鍾乳洞内の祠でとりおこなわれる。×
- 3、百済来地蔵堂の祭りでは神職が祝詞をあげる。×
- 4、瀬戸石ダムは八代市坂本町内にある。×
- 5、4月29日は昭和の日である。○

問3、() を埋めよ

- 1、白石駅の発音は (しろいし) 駅である。
- 2、八代海の別名は (不知火海) である。
- 3、『菊と刀』の執筆者は (ルース・ベネディクト) である。
- 4、今年の人吉のお城祭りは (4月29日、30) 日に開催された。
- 5、今年はツクシイバラ確認から (100) 年目にあたる。

問4、○×で答えよ

- 1、憲法施行は吉田茂内閣が実施した。○
- 2、地方自治法の施行日は憲法の施行日と同一である。○
- 3、山下清は球磨川をみたことがない。×
- 4、アメリカの大統領はエドワード・トランプである。×
- 5、「新解さん」と呼ばれている国語辞書の正式名は岩波国語辞典である。×

問5、写真を見て問い答えよ

- ①鉄橋の名前は？ (球磨川第一橋梁)
- ②石門に咲いている花の名前は？ (海棠)
- ③球磨村内にある地藏尊である。その名前は？ (ヤホー) 地藏
- ④芦北町で運用されているバスである。その名前は？ (ツクール) バス
- ⑤フランスのル・モンド紙で掲載された挿絵である。なにを描いたものか。
(西南戦争)

くまがわ狂句

村上鬼拳

気になる 何処までボーイフレンドか
防犯カメラ 慰謝料取って来てくれた
急ブレーキ 彼女の居るて知ってから
足しげく 千羽鶴より嬉しかつ
胸騒ぎ むごうカルテの暇の要る
のんびりと 自分探しの旅もええ
なん転び 天下国家の模索中
うんざり いま我輩ア自在鉤
馬鹿ばい 取るしこ取って別れじやア
戻りがけ 母親で有り難かです

【むらかみ・きけん／人吉市】

すべての人を自分の親だと思って…



○特別養護老人ホーム
○短期入所生活介護
○通所介護事業所
○居宅介護支援事業所

社会福祉法人 天雲会

龍生園

〒868-0086 人吉市下原田町瓜生田1057-9
施設部門 ☎0966-22-6621 FAX 0966-22-6622
在宅部門 ☎0966-22-2141 FAX 0966-22-2183
URL : www.ryuseien.jp
E-mail : tenunkai-daihyou@ryuseien.jp

編集後記

今月も田中一彦著『忘れられた人類学者』の関連記事に多くのスペースを割いた。今、「須恵村」は再び注目されている場所。あさぎり町須恵在住の方に案内していただき、エンブリー夫妻所縁の場所を歩いてみた。表紙写真にあるように5月下旬の須恵地区は田植えの真っ盛り。緑がまぶしく自然が輝いていた。須恵支所にあったエンブリーが愛用した椅子を見たり、舟場稲荷神社に保存されている寄進者の木板に「ジョンエンブリー」の名前を発見した時には、時代を超えてエンブリー夫妻に触れたような不思議な感覚を味わった。今後も「須恵村」を追いたいと考えている。★今月号から始まった溝下昌美さんの「湯前まんが美術館設立の頃」は、湯前出身の漫画家・那須良輔の記念館設立当時の手記である。「球磨でも奥地、小さな町での、いわば、これは行政の仕事であるが…」の出だしは謙遜に満ちているが今後、その歩みをじっくり見てゆきたい。(ま)

〒868-0015
熊本県人吉市下城本町1436-4の3号
人吉中央出版社「くまがわ春秋」編集部
info@hiyoshi.co.jp
電話・ファックス 0966-23-3759

インフォメーション

開催中

▽松井文庫展示「能面・能装束」(7月9日、八代市立博物館 未来の森ミュージアム)

6月17日(土)
▽「フリマ・クラッセの会」馬場貞至・敬子リサیتال(ひとよし森のホール)

▽熊本震災チャリティコンサート「A列車から昭和歌謡まで」山下正宗・グリとグラ・デルフィオーレ(人吉市上薩摩瀬町イベントホールPRIMAVERA)

6月18日(日)
▽日本の棚田百選「松谷棚田」田植え(球磨村・同棚田)

▽熊本震災チャリティコンサート「アコースティック・ナイト」あるぼ・ぼんた・ナテ・吉村ミツク・甲斐あきひろ(人吉市上薩摩瀬町イベントホールPRIMAVERA)

6月24日(土)
▽2017九州U-16サッカーリーグ(25日、人吉市梢山グラウンド)

6月25日(日)
▽第31・32回九州ブロック大会太極拳熊本県支部大会(人吉市スポーツパレス)

6月28日(水)
▽奥球磨セミナー(多良木町多目的研修センター)

7月9日(日)
▽八代演奏家協会「若い井のコンサート」(八代市厚生会館ホワイエ)

▽熊本地震復興チャリティコンサート「塚原哲平くふるさとへ愛をこめて」(須恵文化ホール)

たけだ眼科クリニック

院長 竹田 憲司
人吉市南泉田町39 ☎23-3096

めがね・コンタクトレンズの
アイウェア 榎
(たけだ眼科ビル内) ☎0966-23-3097

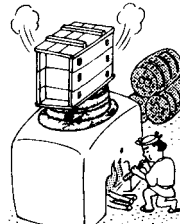
デイサービスセンター

ケアプラン作成所いずみ
(居宅介護支援事業所)

協力医療機関 たけだ眼科クリニック
人吉市南泉田町70番地の3 ☎0966-28-3307

いずみ

匠の枝



◆納豆みそ (お徳用) 300円 (税抜)



◆納豆みそ 477円 (税抜)



御膳醤油 (だし入り方能しょうゆ)

◆玉子かけご飯
◆豆腐
◆お刺身に

300ml 650円 (税抜)



◆みそ煎餅 477円 (税抜)



人吉散策コース 九州初蔵蔵めくら

みそ・しょうゆ蔵



釜田醸造所
会長 釜田元嘉
社長 釜田顕

〒868-0001 熊本県人吉市鍛冶屋町16
電話 (0966) 22-3164
FAX (0966) 22-3165
メール info@marukama.co.jp